

令和4年度
社会福祉研修・介護実習普及センター
研修事業報告書

社会福祉法人京都市社会福祉協議会
社会福祉研修・介護実習普及センター

目 次

□ 研修体系	1
□ 京・福祉の研修情報ネット事業	4
□ 社会福祉研修事業	6
□ 介護実習・普及センター事業	84
（・認知症介護実践研修	116）
□ 区役所・支所福祉業務職員研修	126

社会福祉研修・介護実習普及センター研修体系

令和4年度

社会福祉研修事業	キャリアパス研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〔初任者コース〕	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〔中堅職員コース〕	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〔チームリーダーコース〕	
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程〔管理職員コース〕 Zoom オンライン	
	人権研修	福祉職員人権研修（新任・中堅職員編） Zoom オンライン	
		福祉職員人権研修（指導的・管理的職員編）	
	専門課題別研修	援助技術系	社会福祉援助基礎講座
			利用者の声を聴く オンライン動画視聴型
			アセスメント・プランニング Zoom オンライン
			ケース記録の基礎と活用
			スーパービジョン基礎講座
			アサーション
			福祉職場のマナー研修 オンライン動画視聴型
		組織運営系	はじめての広報紙づくり
			リスクマネジメント（一般職員編）
			リスクマネジメント（担当職員編）
			福祉職員のためのコーチング講座
			問題解決のための思考法 Zoom オンライン
			職場内研修担当職員研修
			社会福祉実習担当職員研修 Zoom オンライン
その他の研修	地域協働セミナー		
	京都市地域子育て支援ステーション事業指定施設職員研修		
	施設長等管理者セミナー オンライン動画視聴型		
	介護支援専門員実務研修受講試験のための受験対策講座		
	京都市新規採用職員研修（福祉施設体験オリエンテーション） 中止		
介護実習・普及センター事業	市民講座	介護基礎講座	
		介護体験講座	
		やさしい介護講座 一部オンライン動画視聴型	
	公開講座	いきいきライフセミナー	
		介護研修〈基礎〉	
	専門職研修	介護研修〈応用〉	
		スキルアップ研修 オンライン動画視聴型	
		福祉用具展示・見学	
	介護機器普及事業	福祉用具情報提供	
		福祉機器シミュレーション事業	
		介護・福祉用具の相談・情報提供	
		認知症介護実践者研修	
	認知症介護実践研修	認知症介護実践リーダー研修	
新任・2年目生活保護 CW 等対象研修・新任保護係長等対象研修 オンライン動画視聴型			
区役所・支所福祉業務職員研修	新任・2年目生活保護 CW 等対象研修・新任保護係長等対象研修 オンライン動画視聴型		

京・福祉の研修情報ネット事業

京・福祉の研修情報ネット事業

京・福祉の研修情報ネット事業の実績

		累計
ホームページのアクセス数	閲覧回数（実際にページが閲覧された回数）	282,115
	訪問者数（閲覧ページ数のうち、30分以内の同一 IP アドレスからのアクセスを一人とみなしたもの）	136,552
研修情報ネットからの申込者数		1,083
研修主催者登録数		65
研修情報登録数（新規）		140
メールマガジン登録者数		501



福祉の 研修情報ネット

Kyoto City Social Work Training Information Network

スキルアップ!

みやこけんしゅう 検索
www.miyako-kenshu-net.jp



福祉に役立つ情報が満載!

福祉の仕事に携わる人、ボランティア活動をしている人、福祉のことを学びたい人、そんなみなさんに役立つ研修や講座が、京都でもたくさん開催されています。「京・福祉の研修情報ネット」は、それらの情報を紹介するホームページです。



京・福祉の研修情報ネットで できること

1 研修情報の 検索・閲覧

研修・講座をさまざまな条件で絞り込み、ご希望の研修情報を見ることができます。各主催者いち押しの研修・講座も注目情報からチェックできます。

2 申込手続きも らくらく

参加したい研修や講座が見つかったら → **申し込む** をクリック! その場で簡単に申込手続きができます。
※研修によっては、本サイトからの申込が設定されていないものがあります。



メールマガジンの配信

あなたが希望する研修・講座の最新情報を、随時お届けします。

登録は

メールマガジン申し込み

からメールアドレスを入力するだけ!



京・福祉の研修情報ネット事業事務局 (社会福祉研修・介護実習普及センター)

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅津町 83-1 ひと・まち交流館 京都 TEL: 075-354-8771 E-mail: info@miyako-kenshu-net.jp
設置 京都市 / 運営 社会福祉法人京都市社会福祉協議会

社会福祉研修事業

社会福祉研修事業

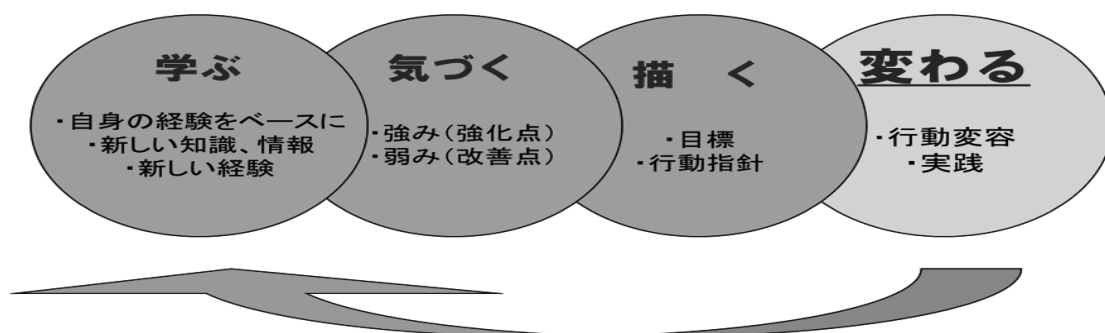
今年度の状況と研修実施後の行動変容についてのアンケート結果（3ヶ月後アンケート結果）

今年度は、広い会場で受講者同士の距離を取り、換気を充分に行うなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をしっかりと行いました。

また、一部の研修ではZ o o mや動画視聴型などオンライン研修を実施しました。

研修は、学習したことを受講後に実践することで、業務に活かすことができ、サービスの質の向上等に役立てることができます。

社会人的な学びのスタイル



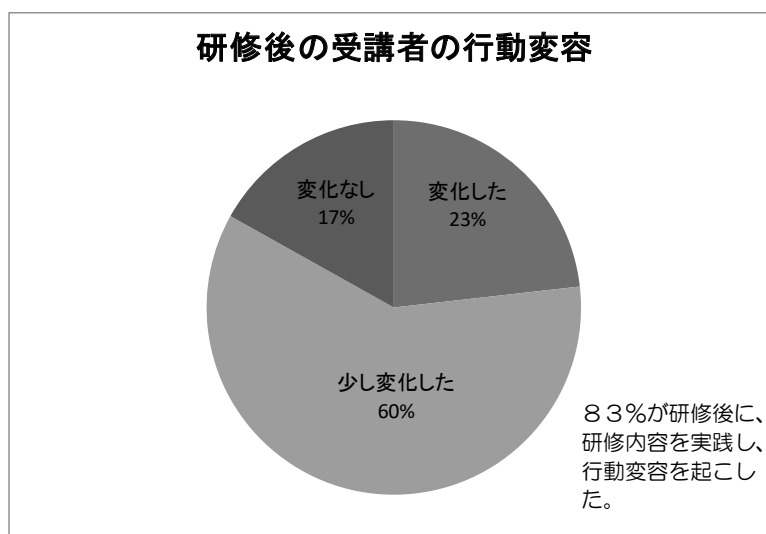
社会福祉研修事業において、研修実施後に受講者が研修内容を実践し、どのように自らの行動を変化（行動変容）させたかについて、研修実施3ヶ月後にアンケートを実施。

令和4年度 3ヶ月後アンケート全体集計

	変化した	少し変化した	変化なし	返信数
合計	155	400	109	664
割合	23%	60%	17%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった社会福祉研修受講者664名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



社会福祉研修事業

研 修 名	期 日	内 容	定員	受講者数	掲載頁
キャリアパス対応生涯研修課程					
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【初任者コース A・B・C日程】 A日程・B日程 <u>Zoomオンライン研修</u>	A 7月 1日 7月 7日 B 8月 31日 9月 12日 C 11月 2日 12月 1日	①自身のキャリアアップの方向性について自覚を深める②福祉の基本理念と倫理について基礎を習得する③チームケアの一員としてメンバーシップやコミュニケーションの基本を学ぶ④キャリアアップに必要な啓発課題について基本を学び、啓発意欲を高める⑤福祉職員としての役割行動と行動指針を確認し、自己のキャリアデザインとアクションプランを策定する	A40 B50 C50	A33 B22 C24	15
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【中堅職員コース A・B日程】 B日程 <u>Zoomオンライン研修</u>	A 6月 17日 6月 23日 B 9月 27日 10月 12日	①中堅職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントのあり方を学ぶ②福祉の倫理と基本理念の理解を深め、実践での手法を習得する③チームケアの一員としてメンバーシップやチームワークのあり方を再認識する④中堅職員としてキャリアアップの啓発課題を学び、方向性を明確にする⑤中堅職員としての役割と行動指針を確認し、挑戦目標を設定する	A40 B50	A39 B34	17
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【チームリーダーコースA・B日程】	A 6月 3日 6月 8日 B 10月 19日 10月 28日	①チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントのあり方を学ぶ②福祉の倫理と基本理念の実践的検証と考察、指導のための手法を習得する③チームリーダーとして職場の問題解決手法を学び、問題解決能力を高める④チームリーダーとしてキャリアアップの啓発課題を学び、方向性を明確にする⑤チームマネジメントの役割と行動指針を確認し、挑戦目標を設定する	A40 B50	A33 B19	19
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 【管理職員コース】 <u>Zoomオンライン研修</u>	8月 22日 8月 23日	①福祉職員としてのキャリアデザインと職場環境のあり方を学ぶ②福祉の基本理念と倫理の徹底・浸透のための手法を習得する③管理職員としてのリーダーシップの醸成を図る④管理職員としてキャリアアップの啓発課題を確認し、方向性を明確にする⑤職場管理・役割行動に関する行動指針を確認し挑戦目標を設定する	30	21	21
人権研修					
福祉職員人権研修 新任・中堅職員編 ～社会福祉実践者に求められる人権意識・態度とは～ <u>Zoomオンライン研修</u>	9月 6日	前提となる人権の考え方／ソーシャルワークにおける人権の意味／人権意識や態度と利用者支援の関係／人権を意識化するためのコミュニケーション力の必要性／人権意識の向上に向けたスキルアップ／情報交換	40	21	25

研 修 名	期 日	内 容	定員	受講者数	掲載頁
福祉職員人権研修 指導的・管理的職員編 ～社会福祉実践者に求められる人権意識・態度とは～	1月11日	ソーシャルワークにおける人権の意味／人権意識や態度と利用者支援の関係／コミュニケーション力の必要性／人権意識の向上に向けたスキルアップ・人権を意識した記録方法／情報交換	30	21	27
専門課題別研修(援助技術系)					
社会福祉援助基礎講座 ～福祉の職場で働きはじめた方、働きつづけた方のために～	5月19日 5月31日	社会福祉って何？／近年の社会福祉の動向／専門職って何？／倫理綱領／利用者の立場に立つ／バーンアウトに気をつけて／利用者や家族を理解する・かわり続ける／価値ということ／日常生活を支援する／生活支援のためのコミュニケーション技法／自己覚知／利用者を理解する	40	38	31
利用者の声を聴く ～“対人援助のプロ”としてのコミュニケーション～ 動画視聴型研修	9月1日 ～11月28日	利用者の思いをどこまで受け止めているか／援助職員の普段の“聴き方”は／当事者からのメッセージ	36	33	33
アセスメント・プランニング ～利用者をよく知り、支援を深める～ Zoomオンライン研修	10月4日	アセスメント・プランニング概論／アセスメント・プランニング演習／アセスメント・プランニングシートを使っのての情報交換	30	28	35
ケース記録の基礎と活用	2月8日	記録の意義と概要／記述のポイント／記録と個人情報保護／観察の視点／観察、記録の演習／情報交換	30	29	37
スーパービジョン基礎講座	11月17日	スーパービジョン(SV)とは／SVの方法・形態／SV場面を通じて自らの実践を振り返る／SV関係と援助関係	30	20	39
アサーション ～「感情労働」から考える対人コミュニケーション～	2月4日 2月5日	対人コミュニケーションについて／自己の対人関係上の特徴について／上手に伝えるためのシナリオ作りとロールプレイング／ロールプレイングとまとめ	14	11	41
福祉職場のマナー研修 ～気持ちに寄り添う～ 動画視聴型研修	5月2日 ～9月30日	あいさつ、丁寧な話し方、表情・態度、電話対応・来客対応	40	40	43
専門課題別研修(組織運営系)					
〔京都市社会福祉施設連絡協議会〕 はじめての広報紙づくり ～施設・団体と読み手をつなぐ、魅力ある紙面へ～	5月12日	広報の意義、広報紙の種別と作り方／情報交換／イベント広報のためのチラシの作り方／月だより(行事予定入り)の作り方	24	13	47
リスクマネジメント研修 (一般職員編) ～現場職員の基礎知識と心構え～	1月19日	リスクマネジメント概論／福祉・介護現場におけるリスクマネジメント／リスクマネジメントを進める体制整備／事故防止／苦情対応／演習	40	24	49

研 修 名	期 日	内 容	定員	受講者数	掲載頁
リスクマネジメント研修 (担当職員編) ～利用者・家族・地域に信頼される組織づくりを目指して～	5月18日 5月24日	苦情申立から見た事故・苦情の処理/事後処理と保険/インシデントレポートの活用/職場での課題解決の実践	40	19	51
福祉職員のためのコーチング講座 ～人を育てる・人が育つコーチングを学ぶ～	12月9日	自ら考え、行動できるスタッフのいる職場にするため、考えと行動を「引き出す」コーチングスキルを習得する/職場の目標、リーダーとしての役割を果たすための基本姿勢を学び、コーチングを現場に活かせるようにする	24	22	53
問題解決のための思考法～私が変わる・職場を変える～ <u>Zoomオンライン研修</u>	8月26日	「問題解決の思考の流れ」「制約理論TOCとは」「クラウドワーク」「対立する意見の先にある共通の目的を見つける」「歩み寄るために・感謝の表明」等	24	19	55
[京都市社会福祉施設連絡協議会] 職場内研修担当職員研修 ～職場の活性化を図る研修を企画しよう！～	12月16日	実践報告「各施設での職場内研修の取り組みと課題」 職場の活性化をテーマとした研修プランを作成	20	14	57
[京都児童福祉施設 実習教育連絡協議会] 社会福祉実習担当職員研修 <u>Zoomオンライン研修</u>	9月17日	施設現場の実習でソーシャルワークをどう学ぶか	50	50	59
ファシリテーション ～人を動かし、会議を活性化させる～ <u>Zoomオンライン研修</u>	8月8日 8月17日 午後のみ	ファシリテーションの基本的考え方/人の意見やアイデアを引き出す技術/ラボラトリーという考え方(学びの循環)/チーム・ビルディングの大切さ/演習 自分の性格や癖の分析と行動対策/まとめる技術の実践/可視化の重要性と技術/ファシリテーション会議運営の実践	30	18	61
[京都市社会福祉施設連絡協議会] OJTリーダー育成研修 ～人を育てる！職場が変わる！～	10月11日 11月7日 12月6日	OJTとは/OJT構築の方法/OJTの実践/OJTのためのコミュニケーション/職場実践の共有/OJTのためのコミュニケーション	24	21	63
福祉職員のためのアンガーマネジメント講座 ～怒りの感情と上手につきあうために～	3月10日	「アンガーマネジメント」とは/「怒りの感情」とは/「アンガーマネジメント」実践テクニック/自分の「怒りの傾向」に合わせた対処法/怒りの原因となりやすい6つのコアビリーフ/「アンガーマネジメント」を習慣化するために	50	31	65
[京都市社会福祉施設連絡協議会] 心に響く！伝える技術 プレゼンテーション研修 <u>Zoomオンライン研修</u>	5月26日	「プレゼンテーションの基礎知識」/「プレゼンテーションの種類」/「プレゼンテーションの流れ」/「ストーリー作り」/「TEDに学ぶプレゼンテーション」/「演習 プレゼンテーションの実際」	24	21	67

研 修 名	期 日	内 容	定員	受講者数	掲載頁
モチベーション・マネジメント ～職員のやる気を引き出す～	12月14日	「研修転移」/「坂を上るための2つの力」(坂の上の太陽)/ 「外発的動機と内発的動機」/ 「キャリア 登山型とトレッキング型の違いを理解する」/「ABC理論」/「モチベーションとデモチベーション」/「育て上手なマネージャーと平均的なマネージャーの違いワーク」	30	23	69
〔京都市社会福祉施設連絡協議会〕 福祉職場のよりよい人間関係研修	11月11日	「職場とは」 「専門職に求められるもの」 「目標・チームとは何か」 「コミュニケーションを考える」 「言語・非言語のコミュニケーション」 「事例に基づくロールプレイ」等	30	16	71
その他の研修					
〔京都市社会福祉施設連絡協議会〕 地域協働セミナー	11月14日	「連携・協働の意義」 「チームコーディネーション」 「実際の連携・協働の事例」 「地域アセスメントシート演習」 「連携・協働のプログラム作り演習」	20	20	75
〔京都市社会福祉施設連絡協議会〕 施設長等管理者セミナー 動画視聴型研修	2月10日 ～3月10日	管理者に求められる基本姿勢	70	109	77
〔京都市子ども若者はぐくみ局育成支援課〕 京都市地域子育て支援 ステーション事業 指定施設職員研修 ①・③動画視聴型研修	① 7月1日 ～7月30日 ②11月21日 ③ 2月10日 ～3月10日	①「“相手との適切な距離を保つ” 対人援助のためのバウンダリー」 ②「保護者の自己肯定感が高まる相談支援」 ③「WEB サイト・SNS を活用した効果的な“情報発信”」	① - ② AM50 PM50 ③ -	① 170 ② AM45 PM24 ③ 138	79
〔京都市行財政局人事課〕 京都市新規採用職員研修福祉施設 体験オリエンテーション	中止	福祉施設体験のオリエンテーション	-	-	
介護支援専門員(ケアマネジャー) 実務研修受講試験のための受験対策講座	7月16日 8月20日 9月3日 9月24日	介護支援専門員実務研修受講資格取得のための必要な知識を習得する	56	49	82

キ ャ リ ア パ ス 研 修

研修名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース
目的	<p>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、福祉・介護分野に共通する能力を向上させるため全国社会福祉協議会が開発した全国共通の基礎的研修です。研修修了者には修了証書を発行いたします。</p> <p>【ねらいと目標】</p> <p>① 自身のキャリアアップの方向性について自覚を深める。 ② 福祉の基本理念と倫理についての基礎を習得する。 ③ チームケアの一員としてメンバーシップやコミュニケーションの基本を学ぶ。 ④ キャリアアップに必要な啓発課題について基本を学び、啓発意欲を高める。 ⑤ 福祉職員としての役割行動と行動指針を確認し、自己のキャリアデザインとアクションプランを策定する。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の入職半年以上3年未満の職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	A日程 令和4年 7月 1日(金)・7日(木) B日程 令和4年 8月31日(水)・9月12日(月) Zoomオンライン C日程 令和4年11月24日(木)・12月1日(木)
開催日数	各2日
定員	A日程：40名 B日程：50名 C日程：50名
受講人数	A日程：33名 B日程：22名 C日程：24名
申込者数	A日程：33名 B日程：23名 C日程：25名
会場	ひと・まち交流館 京都 B日程：オンラインのため会場なし

【A・B・C日程】

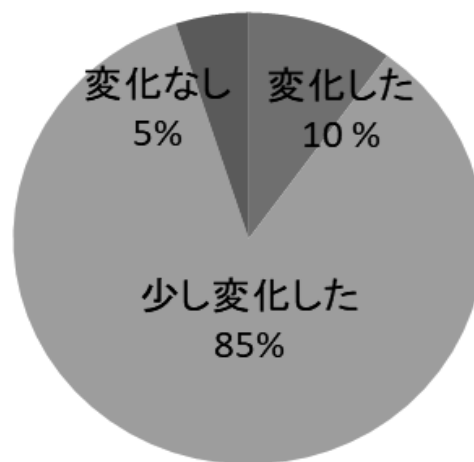
開催日	時間	テーマ	講師
A:7/1 (金) B:8/31 (水) C:11/24 (木)	9:30～17:00 B日程のみ 10:00～16:30	《基軸科目の講義と演習》 ・キャリアデザインとセルフマネジメント 《基礎科目の講義と演習》 ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・メンバーシップ・リーダーシップ 《重点科目の講義と演習》 ・問題解決のためのワークショップ	【A日程】 京都総合福祉協会 事務局次長 中西 大作 【B日程】 Zoom レーベン横大路居宅支援事業所 管理者 馬場 孝雄
A:7/7 (木) B:9/12 (月) C:12/1 (木)	9:30～17:00 B日程のみ 10:00～16:30	《啓発科目の講義と演習》 ・能力開発 ・業務解決の解決と実践研究 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働 ・組織運営管理 《行動指針と行動計画の策定》	高齢者福祉施設 小川 総務部長兼介護部長 小谷 雅敏 【C日程】 京都総合福祉協会 事務局次長 中西 大作 太陽の家 愛知京都本部 京都就労支援課課長 坂本 和也

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
初任者A (人)	3	22	1	26
初任者B (人)	2	11	2	15
初任者C (人)	1	18	0	19
割合	10%	85%	5%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったキャリアパス研修 初任者コース60名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



95%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容 (抜粋)

- ・以前より、上司や同僚職員への報・連・相ができています。些細なことでも不安があることは報告、相談し、その問題に向き合い解決できるよう日々行動しています。
- ・前よりもチーム内での連携が取れ、業務をより遂行しやすくなりました。利用者との関わりを増やすことができました。

研修名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース
目的	<p>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、福祉・介護分野に共通する能力を向上させるため全国社会福祉協議会が開発した全国共通の基礎的研修です。研修修了者には修了証書を発行いたします。</p> <p>【ねらいと目標】</p> <p>① 中堅職員としてのキャリアデザインとセルフマネジメントのあり方を学ぶ。 ② 福祉の倫理と基本理念の理解を深め、実践での手法を習得する。 ③ チームケアの一員としてメンバーシップやチームワークのあり方を再認識する。 ④ 中堅職員としてキャリアアップの啓発課題を学び、方向性を明確にする。 ⑤ 中堅職員としての役割と行動指針を確認し、挑戦目標を設定する。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の 入職後概ね3年～5年程度の節目の職員（担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員）
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	A日程 令和4年6月17日（金）・23日（木） B日程 令和4年9月27日（火）・10月12日（水）Z o o mオンライン
開催日数	各2日
定員	A日程：40名 B日程：50名
受講人数	A日程：39名 B日程：34名
申込者数	A日程：41名 B日程：37名
会場	A日程：ひと・まち交流館 京都 B日程：オンラインのため会場なし

【A・B日程】

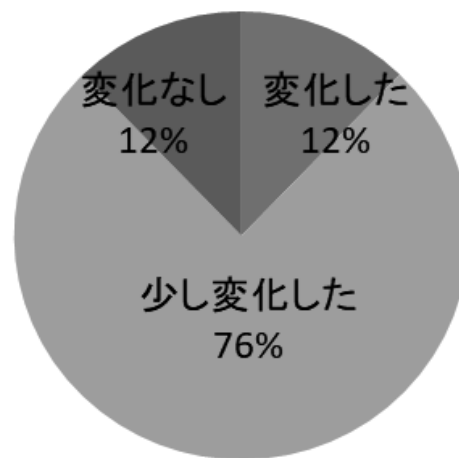
開催日	時間	テーマ	講師
A:6/17 （金） B:9/27 （火）	A：9:30～ 17:00 B:10:00～ 16:30	《基軸科目の講義と演習》 ・キャリアデザインとセルフマネジメント 《基礎科目の講義と演習》 ・福祉サービスの基本理念と倫理 《重点科目の講義と演習》 ・メンバーシップとコミュニケーションについて	【A日程】 キャリアデザイン研究・ 研修プロデュース 梶谷 康則 高齢者福祉施設 小川 総務部長兼介護部長 小谷 雅敏
A:6/23 （木） B:10/12 （水）	A：9:30～ 17:00 B：10:00～ 16:30	《啓発科目の講義と演習》 ・人材育成・能力開発 ・業務解決の解決と実践研究 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働 ・組織運営管理 《行動指針と行動計画の策定》	【B日程】Z o o m 京都市やましな学園 園長 政田 美由紀 六満こども園 園長 内海 日出子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
中堅A (人)	4	20	3	27
中堅B (人)	2	17	3	22
割合	12%	76%	12%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったキャリアパス研修 中堅職員コース49名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



88%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

・以前よりも自分のチームでの立場や役割を意識して行動できるようになりました。まずは自身が率先して動き、チームが潤滑に機能することを目標にしています。特に後輩指導に関してはより強い関心をもって臨んでいると思います。

・「教えてもらう、指示されるのを待つ」のではなく、自分から所属の各職員とコミュニケーションをとることを心がけ、それぞれの意見や自分のすべきことを把握できるように行動しています。「中堅職員は職場の顔である」というフレーズを念頭に置き、担当業務以外のことも自分事としてとらえ、その都度できることを考え行動しています。

研修名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース
目的	<p>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、福祉・介護分野に共通する能力を向上させるため全国社会福祉協議会が開発した全国共通の基礎的研修です。研修修了者には修了証書を発行いたします。</p> <p>【ねらいと目標】</p> <p>① チームリーダーとしてのキャリアデザインとセルフマネジメントのあり方を学ぶ。 ② 福祉の倫理と基本理念の実践的検証と考察、指導のための手法を習得する。 ③ チームリーダーとして職場の問題解決手法を学び、問題解決能力を高める。 ④ チームリーダーとしてキャリアアップの啓発課題を学び、方向性を明確にする。 ⑤ チームマネジメントの役割と行動指針を確認し、挑戦目標を設定する。</p>
対象	<p>市内社会福祉施設・団体の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員 ・現に主任、係長等に就いている職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	<p>A日程 令和4年 6月 3日(金)・8日(水)</p> <p>B日程 令和4年10月19日(水)・28日(金)</p>
開催日数	各2日
定員	A日程：40名 B日程：50名
受講人数	A日程：33名 B日程：19名
申込者数	A日程：33名 B日程：19名
会場	ひと・まち交流館 京都

【A・B日程】

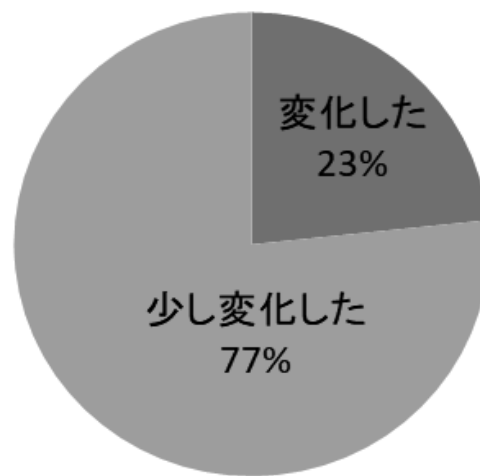
開催日	時間	テーマ	講師
<p>A:6/3 (金)</p> <p>B:10/19 (水)</p>	9:30～17:00	<p>《基軸科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインとセルフマネジメント <p>《基礎科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・メンバーシップ・リーダーシップ <p>《重点科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人能力；叱る 	<p>【A日程】</p> <p>ベテスダの家・イマジン 統括管理者 中西 昌哉</p> <p>京都市ふしみ学園 京都いたはし学園 施設長 竹内 竜也</p>
<p>A:6/8 (水)</p> <p>B:10/28 (金)</p>	9:30～17:00	<p>《啓発科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力開発 ・業務解決の解決と実践研究 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働 ・組織運営管理 <p>《行動指針の策定》</p> <p>《キャリアデザインシートと行動計画の策定》</p>	<p>【B日程】</p> <p>京都老人福祉協会 理事長 馬場 協一郎</p> <p>南山城学園 障害者支援施設 紡 施設長 村地 正浩</p>

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
チームA (人)	6	13	0	19
チームB (人)	1	10	0	11
割合	23%	77%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったキャリアパス研修 チームリーダーコース30名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



100%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容 (抜粋)

・研修後、チームリーダーとしての自覚がより一層強くなり、リーダーシップを発揮できるよう意識して声かけするようになりました。リーダーとして指示する時は、ポイントを押さえられているかなど確認しながら業務に取り組めるようになったと感じます。

・見られている存在ということを実感し、言動にも注意するようになり、同時に職員を俯瞰して見られるようになってきました。職員と話す機会も増え、一緒に物事を考える、実践することも多くなりました。

研修名	福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース《Z o o mオンライン》
目的	<p>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、福祉・介護分野に共通する能力を向上させるため全国社会福祉協議会が開発した全国共通の基礎的研修です。研修修了者には修了証書を発行いたします。</p> <p>【ねらいと目標】</p> <p>① 福祉職員としてのキャリアデザインと職場環境のあり方を学ぶ。 ② 福祉の基本理念と倫理の徹底・浸透のための手法を習得する。 ③ 管理職員としてのリーダーシップの醸成を図る。 ④ 管理職員としてキャリアアップの啓発課題を確認し、方向性を明確にする。 ⑤ 職場管理・役割行動に関する行動指針を確認し挑戦目標を設定する。</p>
対象	<p>市内社会福祉施設・団体の</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近い将来管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員 ・現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年8月22日（月）・23日（火） Z o o mオンライン
開催日数	2日
定員	30名
受講人数	21名
申込者数	21名
会場	オンラインのため会場なし

【日程】

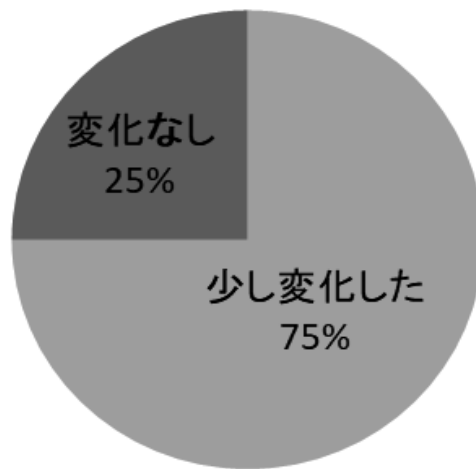
開催日	時間	テーマ	講師
8/22 （月）	10:30～ 15:45	<p>《基軸科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインとセルフマネジメント <p>《基礎科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの基本理念と倫理 ・メンバーシップ・リーダーシップ <p>《重点科目の講義と演習》</p> <p>利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み</p>	日本女子大学人間社会学部教授
8/23 （火）	10:30～ 15:45	<p>《啓発科目の講義と演習》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能力開発 ・業務解決の解決と実践研究 ・リスクマネジメント ・チームアプローチと多職種連携・地域協働 ・組織運営管理 <p>《行動指針の策定》</p> <p>《キャリアデザインシートと行動計画の策定》</p>	<p>福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 テキスト編集委員会委員</p> <p>久田 則夫</p>

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
管理職員コース(人)	0	9	3	12
割合	0%	75%	25%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったキャリアパス研修 管理職員コース12名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



75%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容(抜粋)

- ・自分の立場を意識して認め上手・褒め上手になれるように、小さなことでもいいところを見つけて褒めるようにしています。
- ・まず自分が変わる、態度で示すということを意識し行動するようになりました。

人 權 研 修

研修名	福祉職員人権研修（新任・中堅職員編）《Z o o mオンライン》 ～社会福祉実践者に求められる人権意識・態度とは～
目的	「人権」とは、実はとても身近で具体的なものです。この研修では、日頃の社会福祉実践や自らのコミュニケーションのあり方などを振り返ります。 そして、利用者のみならず、私たち働く側の人権についてもその「具体的な意味」を考えます。職場内研修でも取り組むことのできる多彩な演習も魅力です。
対象	市内社会福祉施設・団体の新任・中堅職員（経験1～5年未満程度）
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年9月6日（火）
開催日数	1日
定員	40名
受講人数	21名
申込者数	21名
会場	オンラインのため会場なし

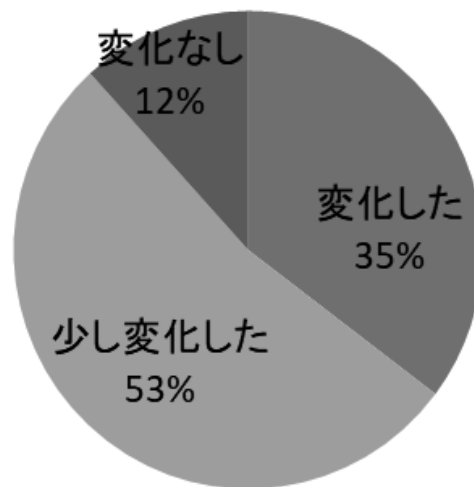
開催日	時間	テーマ	講師
9/6 (火)	10:00～16:00	○講義・演習 「前提となる人権の考え方」 「ソーシャルワークにおける人権の意味」 「人権意識や態度と利用者支援の関係」 「人権を意識化するためのコミュニケーション力の必要性」 「人権意識の向上に向けたスキルアップ」	京都府立大学公共政策学部 教授 中村 佐織

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
人権—新任中堅（人）	6	9	2	17
割合	35%	53%	12%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった人権研修 新任中堅編 17名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



88%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・自分の言動を振り返る事で、他の職員の利用者に対する様子にも気づく事ができ、改善のための話し合いができるようになりました。
- ・今まで一方的なコミュニケーションになっていたと感じ、チームの良いところを引き出すように心がけるようになりました。

研修名	福祉職員人権研修《指導的・管理的職員編》 ～社会福祉実践者に求められる人権意識・態度とは～
目的	<p>【この研修の目的】</p> <p>「人権って何？」と問われたとき、皆さんはどう答えますか？</p> <p>福祉・介護の現場で、質の高い支援が求められていますが、それを実践していくにあたっては、まず、この仕事の人権に深いかかわりを持っていることをしっかりと認識しておく必要があります。そのうえで、その人の権利を護る専門職としての知識・意識・態度を醸成していくことが重要となります。</p> <p>この研修では、日頃の社会福祉実践や自らのコミュニケーションのあり方など振り返りながら、職場全体の人権についてその「具体的意味」を考えます。</p> <p>【プログラムの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場の伝達研修でも取り入れられる演習を盛り込む予定です。 ・他法人、施設等の受講者とのグループワークでは、幅広い意見交換等を行うことができます。たくさんの人とのディスカッションで、視野を広げましょう！
対象	市内社会福祉施設・団体の指導的・管理的職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年1月11日（水）
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	21名
申込者数	22名
会場	ひと・まち交流館 京都

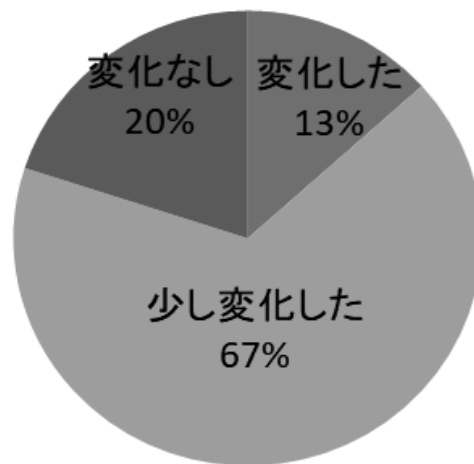
開催日	時間	テーマ	講師
1/11 (水)	10:00～16:30	講義・演習 「ソーシャルワークにおける人権の意味」 「人権意識や態度と利用者支援の関係」 「人権を意識化するためのコミュニケーション力の必要性」 「人権意識の向上に向けたスキルアップ」	京都府立大学公共政策学部 教授 中村 佐織

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
人権-指導管理(人)	2	10	3	15
割合	13%	67%	20%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった人権研修 指導管理編15名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



行動変容内容（抜粋）

- ・相手に話をする前に発言の内容が適切かどうかとを考え、伝え方やニュアンスを変えることで互いに気をつかうことなく業務ができるようになってきました。苦手な方にも積極的にコミュニケーションをとるようになりました。
- ・相手の立場に立つためには相手のことを知らないと思えないと思い、良いところなど1人ひとりのことを知ろうと心がけるようになりました。

専門課題別研修（援助技術系）

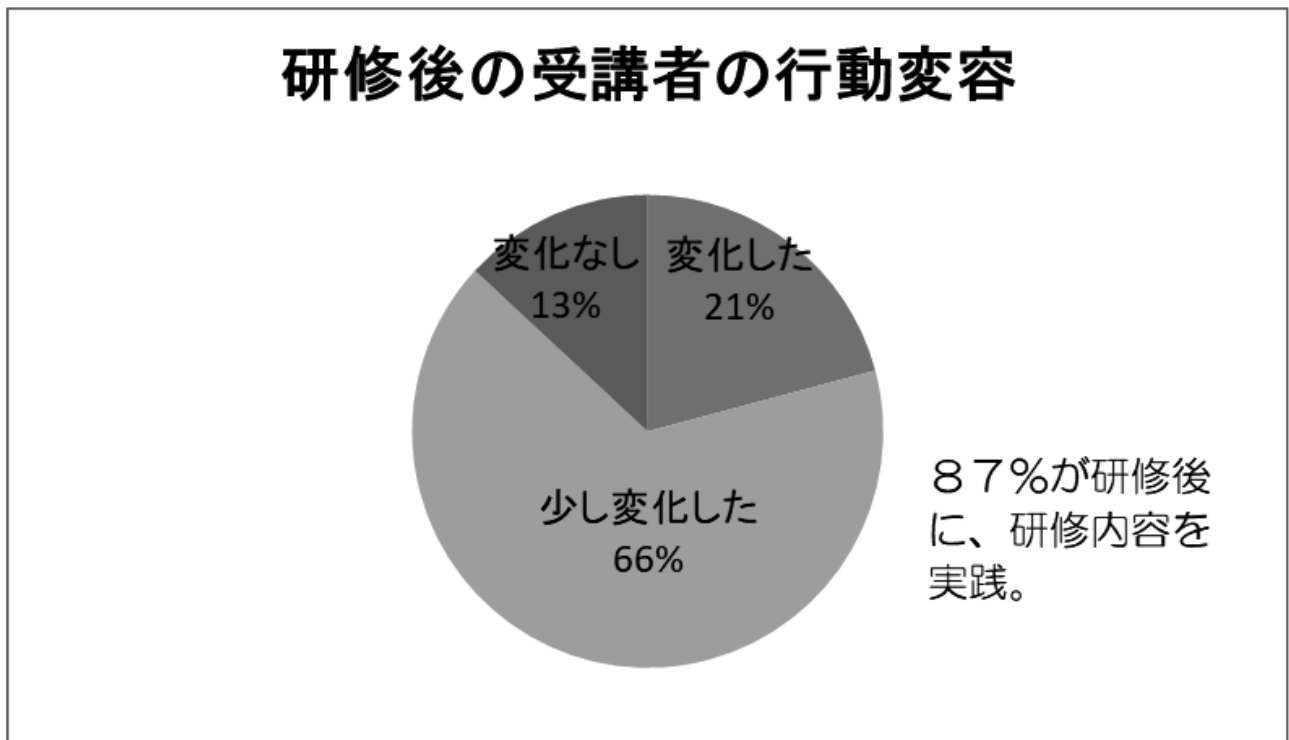
研修名	社会福祉援助基礎講座 ～福祉の職場で働きはじめた方・働きつづけていたい方のために～
目的	社会福祉の仕事の基本を理解し、やりがいをもって働き続けるための基礎を学びます。日々の援助や自身のこれまでを振り返る機会とします。
対象	市内社会福祉施設・団体の新任職員（職務経験が概ね3年未満の方）
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年5月19日（木）・31日（火）
開催日数	2日
定員	40名
受講人数	38名
申込者数	39名
会場	ひと・まち交流館 京都、ハートピア京都

開催日	時間	テーマ	講師
5/19 （木）	9:30～16:30	○講義・演習 「社会福祉の理念とソーシャルワーク」	同志社大学社会学部 教授 空閑 浩人
5/31 （火）	9:30～16:30	○講義・演習 「社会福祉援助の基本と福祉職員の心構え」	日本福祉大学社会福祉学部 准教授 藤井 渉

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
援助基礎（人）	6	19	4	29
割合	21%	66%	13%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった社会福祉援助基礎講座29名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・利用者の生活の場や背景をより意識して行動するようになりました。また、相手にどのように伝わるかを考えて話をするように意識しています。
- ・周囲に積極的にケースの相談をするようになりました。自身では気づかない部分について意見を求めるようにしています。

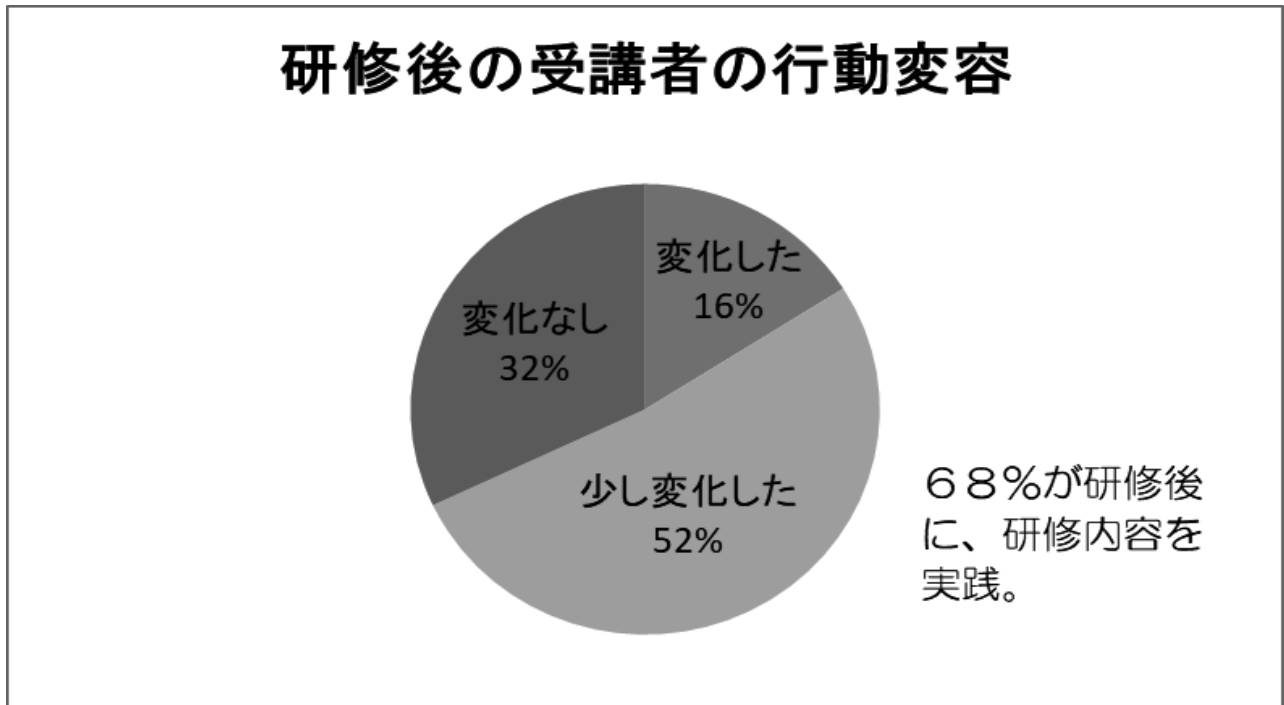
研修名	利用者の声を聴く～「対人援助のプロ」としてのコミュニケーション～ 《オンライン動画視聴型研修》
目的	「利用者主体」とは、利用者や当事者の「声になりにくい声」や「聞き流しがちな声」をしっかり聴き、受けとめることから始まります。それは、「自分のことを自分で決めたい」「人間として尊重されたい」という誰もがもっている権利であり、家族や支援者に対するさまざまな想いです。 この研修では、これまでの日頃の聴く姿勢を振り返り、見つめ直しながら、対人援助のプロとしてのコミュニケーションや、利用者の思いへの理解を深めます。
対象	市内社会福祉施設・団体の初任、中堅職員（職務経験5年未満の方）
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年9月1日（木）～11月28日（月）
開催日数	1時間30分
定員	36名
受講人数	33名
申込者数	33名
会場	動画視聴型研修のため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
9/1 （木） ～ 11/28 （月）	1時間30分	○講義 「利用者の声を聴くということ －対人援助のプロとして－」	大阪公立大学 現代システム科学域 准教授 三田 優子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
利用者の声（人）	4	13	8	25
割合	16%	52%	32%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった利用者の声を聴く研修25名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・自分の価値基準にとらわれず、利用者の話に耳を傾け、表情を注意深く観察することをこれまで以上に心がけるようになりました。
- ・利用者と適切な距離を保ちながら、話を否定せず最後まで聞くことを強く意識するようになりました。

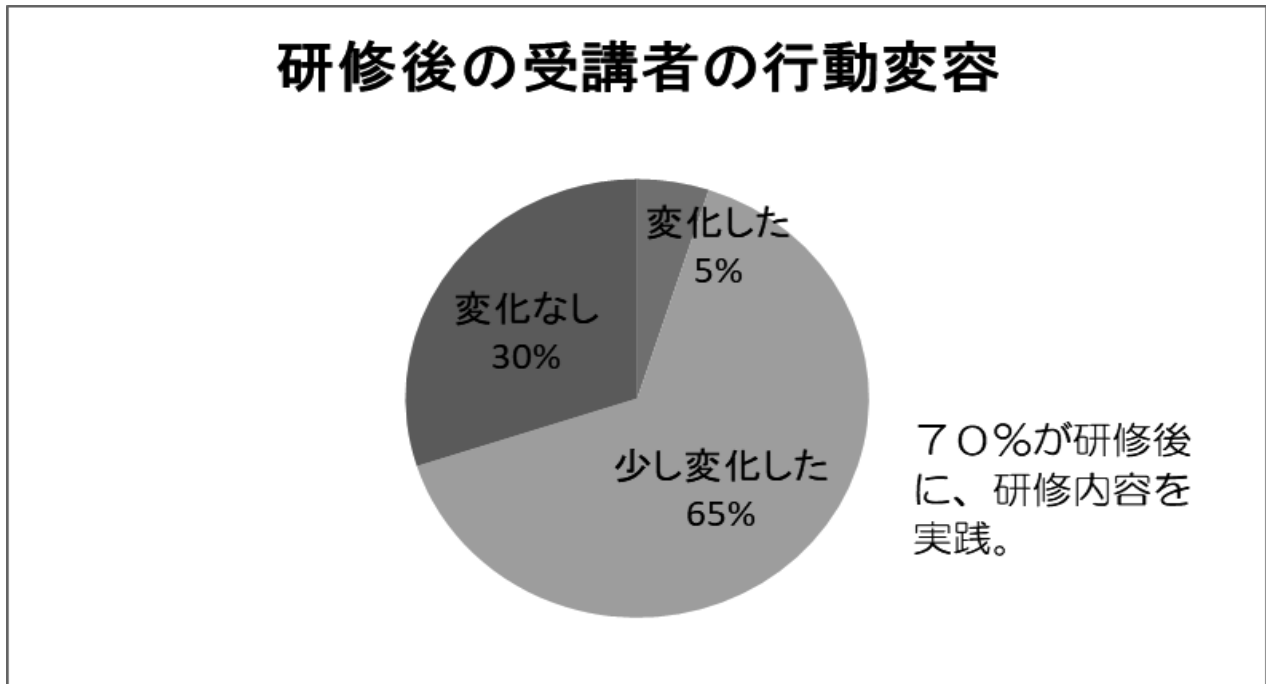
研修名	アセスメント・プランニング ～利用者をよく知り、支援を深める～ 《Zoom オンライン研修》
目的	アセスメント・プランニングは、支援の方向性を定める重要な過程です。ここでは利用者の「困難な状況の把握」に加え利用者のもつ「意欲や能力・資源等を発見」することが求められます。しかし現実には、具体的にどうすれば良いのかわからない！という方も多いのではないのでしょうか。 この研修では、アセスメントの基礎から「エコロジカル視点・ストレングス視点」等といった援助視点の習得を通し、質の高い支援の実施を目指します。
対象	市内社会福祉施設・団体の新任・中堅職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年10月4日（火）
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	28名
申込者数	28名
会場	オンラインのため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
10/4 (火)	10:00～16:30	○講義・演習 「アセスメント・プランニング概論」 「アセスメント・プランニング演習」	同志社大学社会学部 教授 野村 裕美

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
アセプラ (人)	1	13	6	20
割合	5%	65%	30%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったアセスメント・プランニング25名についての結果。



行動変容内容 (抜粋)

- ・利用者のできることに注目するようになりました。
- ・本人が感じているニーズを重視していましたが、本人が気づいていないニーズを本人と信頼関係を構築し探るよう意識するようになりました。

研修名	ケース記録の基礎と活用
目的	<p>ケース記録は、利用者の状況把握や職員間の情報共有、サービスの見直し等、支援の質の向上に欠かせないものです。また、リスクマネジメントやクレーム対応の観点からも大変重要です。</p> <p>この研修では、ケース記録の目的や意義を理解し、事実と判断を区別した誰が見てもわかりやすい記録作成のポイントや活用方法を学びます。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の新任職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年2月8日(水)
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	29名
申込者数	30名
会場	ひと・まち交流館 京都

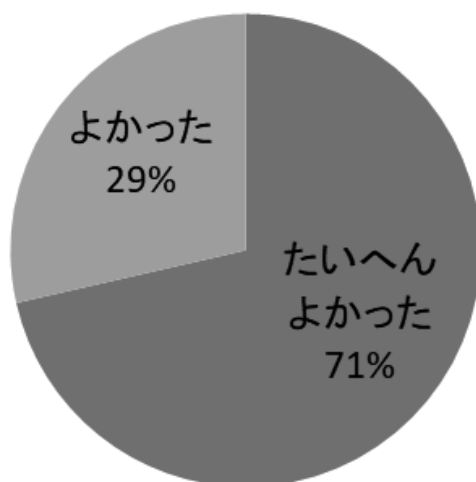
開催日	時間	テーマ	講師
2/8 (水)	10:00～16:00	<p>○講義・演習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の意義と目的 ・記録の書き方の基本・留意点 ・記録の5要素 	<p>京都保育福祉専門学院 副学院長 京都ほせん研修センター センター長 岡本 匡弘</p>

直後アンケート集計

	たいへん よかった	よかった	あまり参考にな らなかった	合計
記録（人）	20	8	0	28
割合	71%	29%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったケース記録の基礎と活用28名についての結果。

研修直後の受講者の感想



受講者の感想（抜粋）

- ・普段使用している言葉が実はNGワードというものがあることがあり、そのNGワードをどんなふうに変換していくかを知ることができて参考になりました。ケース記録を記す時のポイントがわかり、次回の業務で活かせるのでよかったです。
- ・ケース記録によって関係機関の連携がとれて利用者の利益につながることに、結果をしっかりと書くことで次の支援に生かせることがわかりました。五感を意識していきたいと思います。

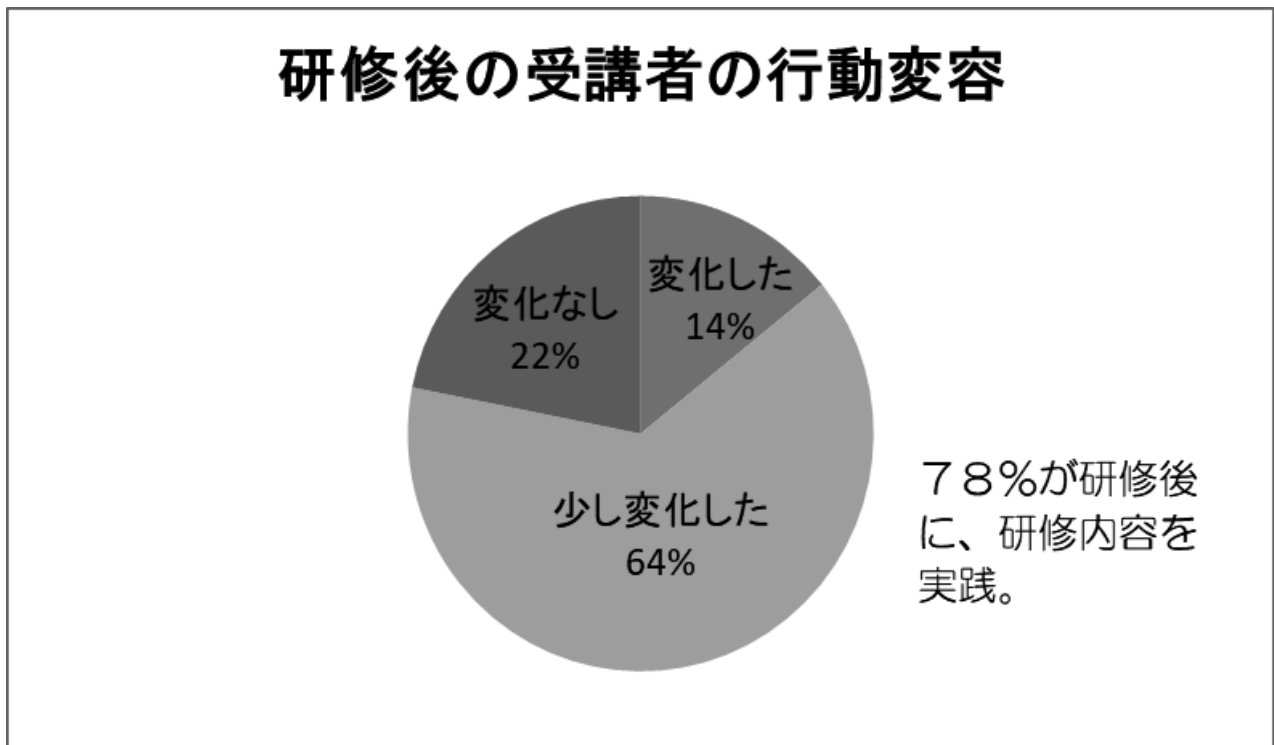
研修名	スーパービジョン基礎講座
目的	この研修では、職員を支え、育てるために必要なスーパービジョンの基礎を学びます。対人援助の価値を振り返り、支援の気づきを促す方法や、職員が自分の強みを活かせるような関わり方等を学び、職員に寄り添い、ともに育つことで、より良い支援を実践しましょう。
対象	市内社会福祉施設（児童・障がい・高齢等）・団体の職員 職員を指導する立場の方
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年11月17日（木）
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	20名
申込者数	24名
会場	ひと・まち交流館 京都

開催日	時間	テーマ	講師
11/17 （木）	10:00～16:00	○講義・演習 ・スーパービジョンとは ・職員とのコミュニケーション ・チームワーク、リーダーシップ ・安心して悩める場づくり 等	同志社大学 社会学部 社会福祉学科 教授 空閑 浩人

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
S V 基礎講座 (人)	2	9	3	14
割合	14%	64%	22%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったスーパービジョン基礎講座14名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・忙しい時ほど 5 分考える時間を取り、考えを整理して自分に余裕を持たせるようにしています。日頃の関わりの姿勢としては、少し根気を持って対話するよう心掛けるようになりました。
- ・自らが手本となり、他の職員も自らも成長できるよう行動するようになりました。新人職員と話し合う機会を持ち、相手の立場に立ってサポートするようになりました。

研修名	「わたし」も「あなた」もOK！ アサーション～「感情労働」から考えるコミュニケーション～
目的	「言いにくいこと」 あなたは、うまく伝えられていますか？ 対人援助職は個人的な感情や価値をコントロールし、いかに相手の感情を受容し理解するかが求められます。その一方、皆さんは、仕事や生活の場面で「相手のことばかり考えて自分の伝えたいことが伝わらない」「自分のことを伝えてばかりで相手を傷つけてしまう」…そんな経験はないですか？ この講座では、対人援助職を「感情労働」ととらえ、「ご利用者」や「働く仲間」と対等な関係を結ぶための、アサーティブコミュニケーション（相手のことを思いやりながら率直に自分の伝えたいことをきちんと表現する）を学びます。
対象	市内社会福祉施設・団体の経験年数3年以上の職員
共催	京都市保育園連盟
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年2月4日（土）・5日（日）
開催日数	2日
定員	14名
受講人数	11名
申込者数	12名
会場	京都テルサ

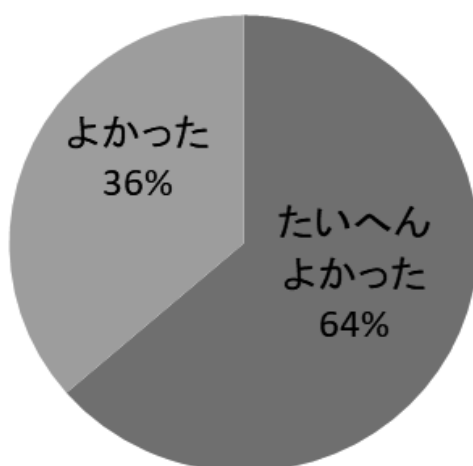
開催日	時間	テーマ	講師
2/4 (土)	13:30～16:30	○講義・演習 「対人コミュニケーション」 「自己の対人関係上の特徴」	畿央大学 看護医療学科 准教授 上仲 久
2/5 (日)	10:00～16:00	「上手に伝えるためのシナリオ作りとロールプレイング」 「ロールプレイングとまとめ」	

直後アンケート集計

	たいへんよかった	よかった	あまり参考にならなかった	合計
アサーション(人)	7	4	0	11
割合	64%	36%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったアサーション研修11名についての結果。

研修直後の受講者の感想



受講者の感想（抜粋）

・親しい人や関係性の強い人ほどノンアサーティブになってしまうことがありますが、自分だけが疲弊しない程度にアサーティブなコミュニケーションを図っていきたいと思いました。

・感情労働という言葉を知らず、知れてよかったです。感情のまま働いていたこともありましたが、良くないなと気づきました。

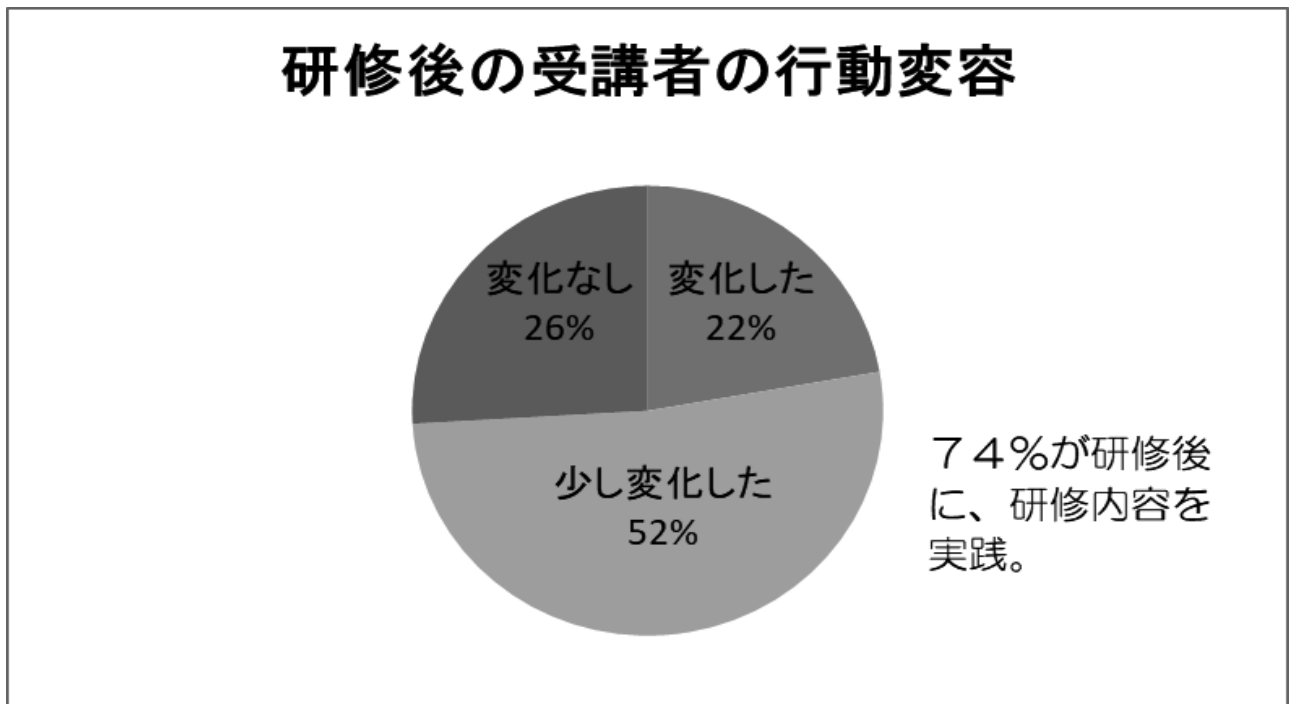
研修名	～気持ちに寄り添う～福祉職場のマナー研修 《オンライン動画視聴型研修》
目的	<p>社会人になったばかりで丁寧な対応に自信がないとか、福祉職場でのマナーを学ぶ機会がなかったなど、どうすればご利用者等に信頼してもらえる丁寧な接し方ができるか、お悩みではありませんか？</p> <p>この研修では、丁寧な対応がご利用者等の安心、信頼につながる「福祉職場のマナー」を動画視聴型研修で学びます。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の新任職員（概ね3年未満の方等）
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年5月2日（月）～9月30日（金）
開催日数	前編：50分 後編：40分
定員	40名
受講人数	40名
申込者数	44名
会場	動画視聴型研修のため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
5/2 （月） ～ 9/30 （金）	前編：50分 後編：40分	ご利用者等の気持ちに寄り添う マナー	キャリアコンサルタント 安藤 ゆかり

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
マナー（人）	6	14	7	27
割合	22%	52%	26%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった福祉職場のマナー研修27名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・表情や声のトーンなど、話している内容に応じてふさわしいものを考え実践するようになりました。些細なことでも連絡や申し送りができるように心がけています。
- ・利用者に応じて作業の流れや注意点などを明確に指示するよう実践しています。能力がそれぞれに違うので細やかな報告と見守りをこれまで以上に心がけています。

専門課題別研修（組織運営系）

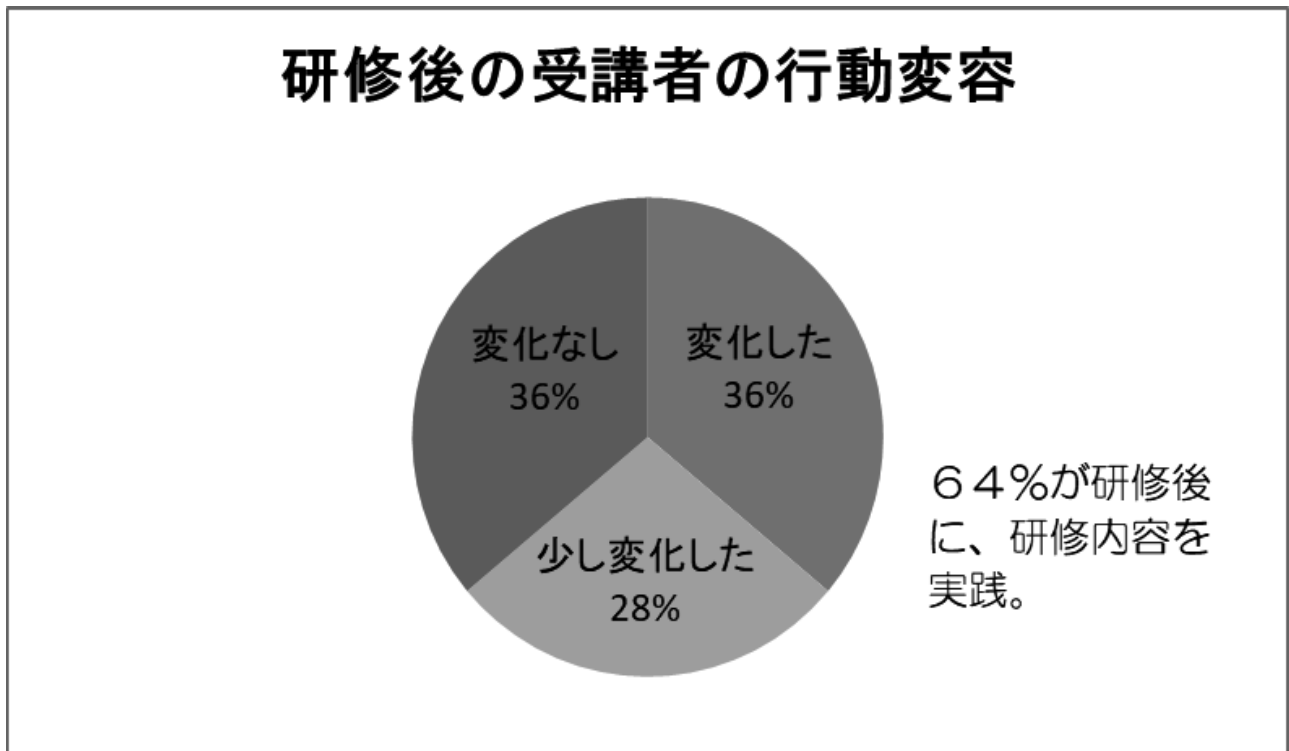
研修名	はじめての広報紙づくり～施設・団体と読み手をつなぐ魅力ある紙面へ～
目的	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントや行事、どのようにお知らせしていますか？ ご家族や地域の方への広報紙に、皆さんはどのような記事を掲載されることが多いでしょうか。イベントや月間の行事案内などはお知らせする機会の多いものではないかと思えます。 ・初歩から手ほどきします！ 今回はこの行事予定の入った「月だより」を取り上げ、紙面づくりの基本やポイントを学びます。特に《一から学びたい方》におすすめの講座です。 魅力ある紙面づくりのコツを演習を交えて学びましょう！
対象	市内福祉施設・団体の広報紙にたずさわる職員
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年5月12日（木）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	13名
申込者数	14名
会場	京都私学会館

開催日	時間	テーマ	講師
5/12 （木）	10:00～16:00	<p>（講義）広報の意義・広報紙の種別と作り方</p> <p>（情報交換）提出いただいた皆さんの広報紙を見せ合い、情報交換を図ります。</p> <p>（講義と演習） その1：イベント広報のための1枚もののチラシの作り方講座 その2：「月だより（行事予定入り）」の作り方講座（A4/4ページを予定）</p>	おふいすパワーアップ 代表 丸橋 泰子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
はじめて広報(人)	4	3	4	11
割合	36%	28%	36%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったはじめての広報紙づくり研修11名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

・文章と写真の載せ方を読者に見やすい、読みやすいように工夫しました。また、読み手が興味を持てるような内容を今までより力を注いで考えられました。相手に伝わりやすいように心がけています。

・チラシだけでなく、あらゆる広報発信の機会において、受け手に興味を持ってもらう工夫を意識するようになりました。特に一言で興味を持ってもらえるような工夫を考えています。

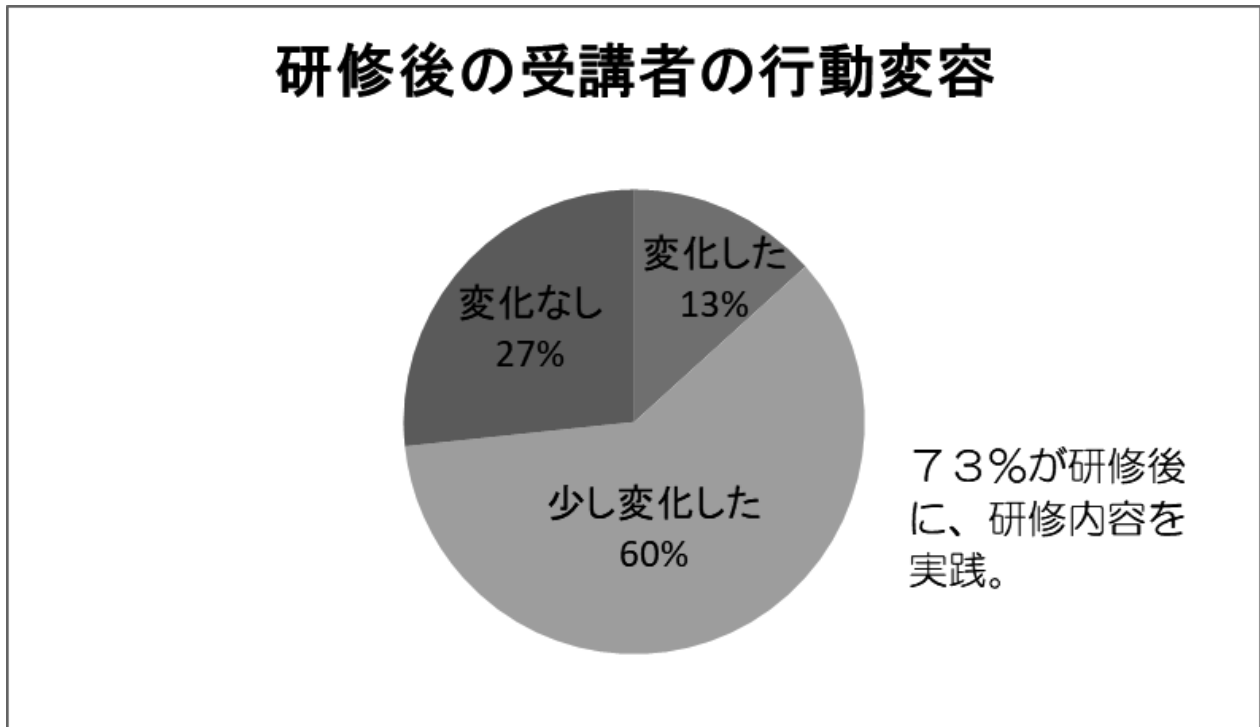
研修名	リスクマネジメント研修《一般職員編》～現場職員の基礎知識と心構え～
目的	リスクマネジメントは、担当者だけでなく職場全体で取り組むことが重要です！ この研修は、職員がリスクマネジメントに対する共通認識をもち、一人ひとりが安心・安全なサービスの提供や、万が一の場合の適切・誠実な対応を実践することで、利用者・家族との信頼関係を築き、福祉・介護サービスが社会的な信頼をさらに高めることをめざします。
対象	市内社会福祉施設・団体の中堅職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年1月19日(木)
開催日数	1日
定員	40名
受講人数	24名
申込者数	24名
会場	京都リサーチパーク

開催日	時間	テーマ	講師
1/19 (木)	10:00～16:00	○講義・演習 「リスクマネジメント概論」 「福祉・介護現場におけるリスクマネジメント」 「リスクマネジメントを進める体制整備」 「事故防止」「苦情対応」 「私の施設・事業所のリスクは？対応の『強み』と『弱み』」 「事故対応・苦情解決のシミュレーション」	(福)リガーレ～暮らしの架け橋～ 総括マネージャー 村田 麻起子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
リスク一般（人）	2	9	4	15
割合	13%	60%	27%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったリスクマネジメント研修一般職員編15名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・利用者との日々の挨拶と世間話をする時間を大切にしています。細かな体調の変化や話の中での小さなクレームの芽を察知し、直ぐに相談し対応しています。
- ・毎日の打ち合わせの時に、小さなことでも気づいたことを伝えるようになりました。

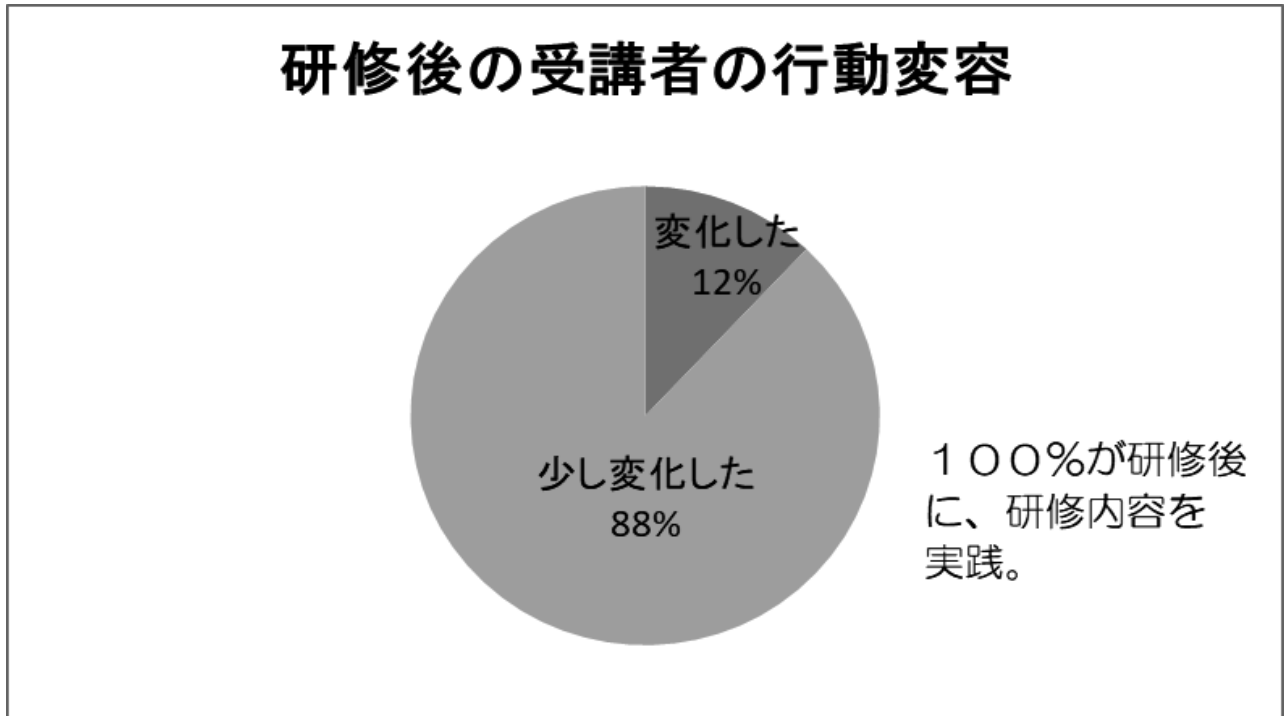
研修名	リスクマネジメント研修《担当職員編》 ～利用者・家族・地域に信頼される組織づくりを目指して～
目的	「職場のリスクマネジメントは十分ですか？」 様々なリスクをできる限り予防するために「事故やヒヤリハットの要因分析のポイント」、「苦情申立に対する法的対応や事後処理と保険」、「リスクに対する組織力の活用、報告・連絡・相談のポイント等」について学びます。
対象	市内社会福祉施設・団体のリスクマネジメント担当職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年5月16日（月）・24日（火）
開催日数	2日
定員	40名
受講人数	19名
申込者数	22名
会場	ひと・まち交流館 京都

開催日	時間	テーマ	講師
5/16 （月）	10:00～10:40	○研修オリエンテーション	（福）リガーレ暮らしの架け橋 総括マネージャー 村田 麻起子
	10:50～12:00	○講義 「苦情申立から見た事故・苦情の処理」	みやこ法律事務所 弁護士 小田 宏之
	13:00～15:30	○講義 「事後処理と保険」	株式会社ユメコム 代表取締役 橋本 珠美
	15:40～16:00	○1日目のまとめと2日目の準備について	（福）リガーレ暮らしの架け橋 総括マネージャー 村田 麻起子
5/24 （月）	10:00～16:00	○講義・演習 「インシデントレポートの活用」 「職場での課題解決の実践」	（福）リガーレ暮らしの架け橋 総括マネージャー 村田 麻起子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
リスク-担当 (人)	1	7	0	8
割合	12%	88%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったリスクマネジメント研修担当職員編8名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・困難な苦情対応として、“気持ちで負けない” “一人で抱え込まない” 心構えで、情報共有やチーム力に目を向けることができました。言葉使いのテクニックも意識して対応ができるようになりました。
- ・事故発生時等を想定して、解決するための手段を深く把握しておくことで、通常時の業務が安心できるような気がします。事務所内でのケース検討会を定例で行うことにしました。

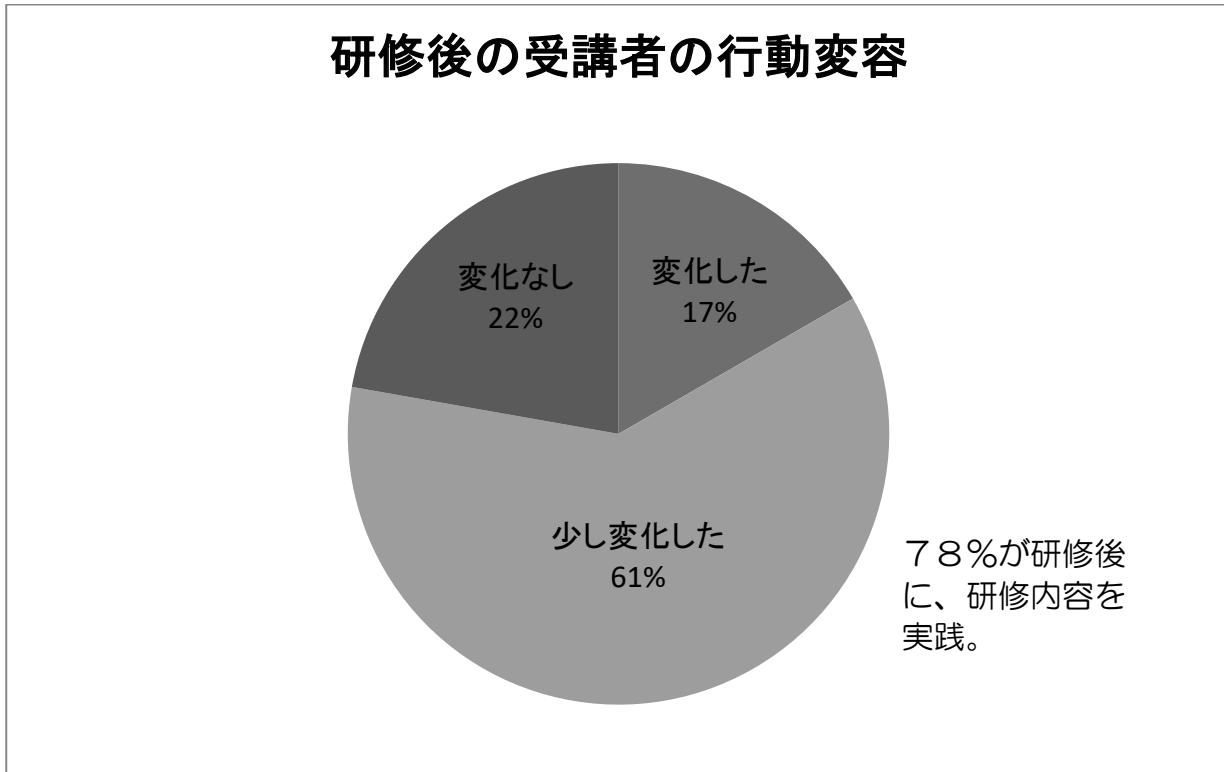
研修名	福祉職員のためのコーチング講座 ～主体性を引き出し、人を育てるコミュニケーション～
目的	指示を待つばかりで、自分で考えて行動しない職員。先輩になったけど人を指導するのは苦手。どうすれば自発的に行動してくれるだろう？ この研修では、自立自走できる人を育てる双方向のコミュニケーションスキル「コーチング」を学びます。 相手の持つ力を引き出す育成スキルを学び、よりよい職場づくりに活かしましょ う。
対象	市内社会福祉施設・団体の指導的立場の職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年12月9日（金）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	22名
申込者数	24名
会場	ひと・まち交流館 京都

開催日	時間	テーマ	講師
12/9 （金）	10:00～16:00	講義と演習 「コーチングとは」 「コーチングとティーチングの違い」 「信頼関係の基礎になるコミュニケーション」 「コーチングの基本スキル 聴く」 「Iメッセージで伝える」 「話の聞き方トレーニング」 「質問する」 「コーチングフロー」	株式会社ナースハート 代表取締役 井上 泰世

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
コーチング（人）	3	11	4	18
割合	17%	61%	22%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった対人援助職のためのコーチング18名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

・今までにない相談や質問をしてくれるようになりました。お互い話さなくても、動きがわかるようになってきました。相手の回答や発言を待つ努力をしました。相手の考えを聞くことができ、相手を正しく理解することができました。

・人と関わる時には、この人は何を考えて意識して行動しているのかを観察したり、質問したりするようになりました。そして、その人の理解を深めたいと思っています。

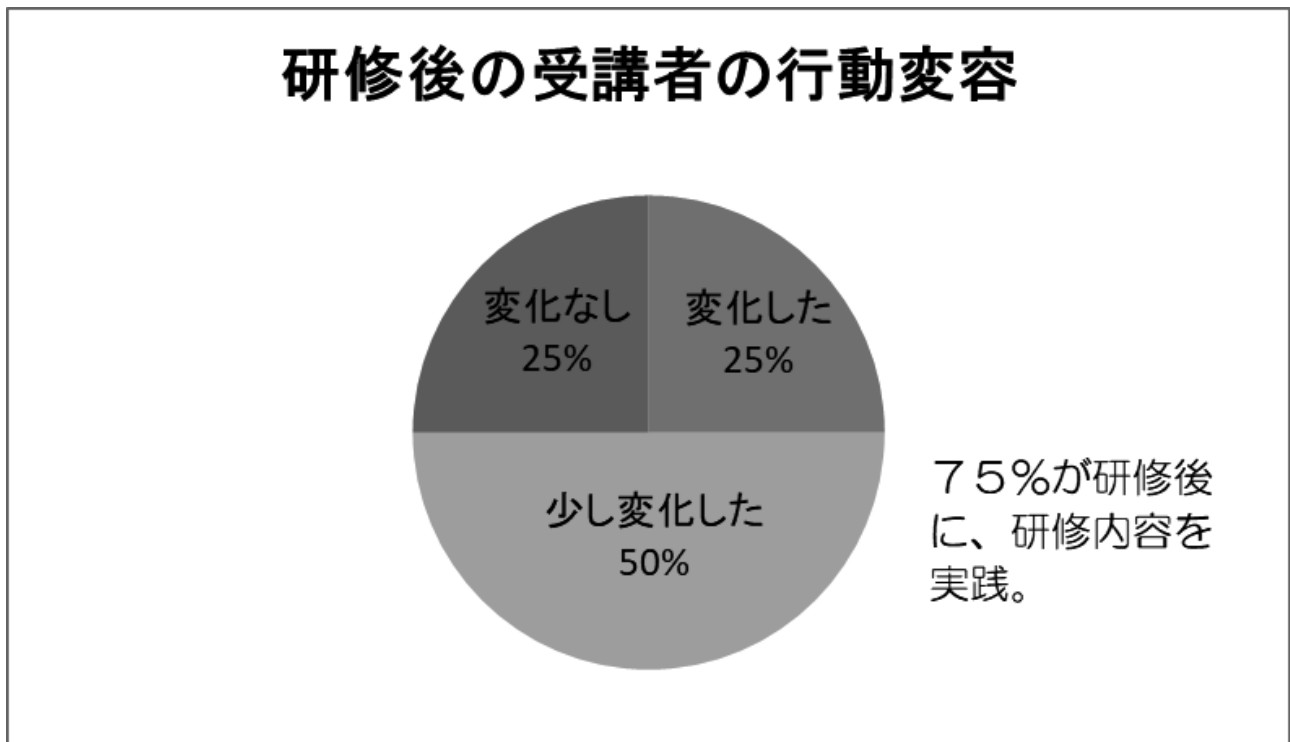
研修名	問題解決のための思考法 ～TOCを活用した取り組みやすくなる工夫～ 《Zoomオンライン研修》
目的	この研修では問題を把握することや、TOC理論による現状分析、職員が取り組みやすくなるための心理的フォローの方法を学びます。 問題を解決するための手法を学び、よりよい職場づくりに活かしましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の中堅・指導的立場の職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年8月26日（金）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	19名
申込者数	20名
会場	オンラインのため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
8/26 （金）	10:00～16:00	○講義・演習 「問題解決の思考の流れ」 「制約理論TOCとは」 「クラウドワーク」 「対立する意見の先にある共通の 目的を見つける」 「歩み寄るために・感謝の表明」 等	キャリアコンサルタント 安藤 ゆかり

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
問題解決(人)	3	6	3	12
割合	25%	50%	25%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった問題解決のための思考法12名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・相手に伝えたい事がある時は、少しでも時間を作って座って対面して話を聞くように気をつけています。また、共感すること、褒めることを常に意識すると同時にちょっとしたことでも話すようにしています。
- ・毎日、当たり前のようにやっていること（掃除、日々の保育）についてもありがとうという感謝の気持ちを伝えるようにしました。気軽に話しかけてくれたり相談してくれるようになりました。

研修名	職場内研修担当職員研修～職場の活性化を図る研修を企画しよう！～
目的	<p>【研修のねらい】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修担当者として人材育成の重要性を認識し、職場内研修についての自職場での取り組みを振り返る。 ・自職場での職員研修を充実させる。 ・自職場での職員研修計画を見直す。 <p>⇒職場の活性化を図る。 ⇒職場の人材育成の仕組みを強化する。</p> <p>【本研修プログラムの特徴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他施設の研修計画などの情報が得られます！ ・研修プランニングの方法を習得することができます！！ ・他施設の研修担当者同士の交流を深めることができます!!!
対象	市内社会福祉施設・団体の職員で、職場内研修担当の方
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年12月16日（金）
開催日数	1日
定員	20名
受講人数	14名
申込者数	14名
会場	京都私学会館

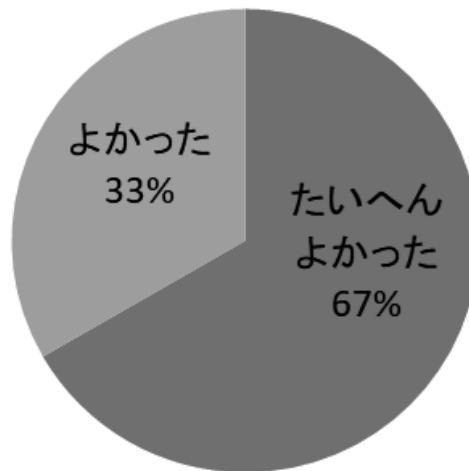
開催日	時間	テーマ	講師
12/16 （金）	10:00～11:20	<ul style="list-style-type: none"> ○導入講義 ○実践報告 「各施設における職場内研修の現状と課題」 	（福）京都福祉サービス協会 施設部 本部長 井上 章 《実践報告》
	11:20～12:00	<ul style="list-style-type: none"> ○情報交換 	（株）クラ・ゼミ こどもサポート 教室「きらり」西院校 指導員 麻田 悠
	13:00～16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ演習 「『職場の活性化』をテーマとした研修プランを作成」 	NPO法人つくし つくしハウス 支援員 今井 里津子

直後アンケート集計

	たいへん よかった	よかった	あまり参考に ならなかった	合計
研修担当（人）	8	4	0	12
割合	67%	33%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった職場内研修担当職員研修12名についての結果。

研修直後の受講者の感想



感想（抜粋）

- ・福祉のあり方は、他の産業のものにも通じると感じました。人を活用する方法は同じなんだと気が付きました。
- ・自分の意見を言うことの難しさときっかけを出す難しさがありました。研修担当の方と話ができ、悩んでいる内容と一緒に、考えるアイデアを出し合うのも良かったです。

研修名	社会福祉実習担当職員研修 ～施設現場の実習でソーシャルワークをどう学ぶか～《Zoomオンライン研修》
目的	<p>本研修は、社会福祉専門職を志す学生の現場実習において、実習受入れ施設・機関と大学が連携を深め、協力して学生の学びをより充実することを目的に毎年開催しています。今年度は、「施設現場の実習でソーシャルワークをどう学ぶか」というテーマで、実習指導のあり方を皆様とともに考える機会にしたいと思います。</p> <p>2021年度から、ソーシャルワーカー（社会福祉士、精神保健福祉士）の新カリキュラムが始まっています。前回のカリキュラム改正では個別支援計画の作成（アセスメント、プランニング）に取り組むことが取り入れられました。今回の新カリキュラムでは「施設や事業所等の現場において実践能力を養う実習科目において、地域における多様な福祉ニーズや多職種・多機関協働、社会資源の開発等の実態を学ぶこと」が求められています。実習指導担当職員には、実習生がこうしたことを学べるように実習プログラムや実習生への働きかけを工夫していくことが求められます。</p> <p>しかし、施設現場で実習生を受け入れるにあたって、ケアの提供を主業務とする施設現場で、前述したようなソーシャルワークを、実習生がどのように体験し／学ぶかについては、悩んでおられる方も多いと思います。</p> <p>そこで、今回の研修会では、施設現場で実習生がソーシャルワークを学ぶために、実習担当職員はどのように考え、どのようなプログラム上の、あるいは実習生への関わり方をしているかについて、養成校教員と3人の実習指導者（児童、障害、高齢分野）から話題提供をいただき、それをもとに参加者の皆さんと話し合いたいと考えます。話し合いを通じて、実習生がソーシャルワークを学ぶ実習指導について、参加者の皆様と知見を共有していきたいと思えます。</p>
対象	社会福祉施設・機関及び大学の実習関係者
共催	京都児童福祉施設実習教育連絡協議会
開催時期	令和4年9月17日（土）
開催日数	1日
定員	50名
受講人数	50名
会場	オンラインのため会場なし

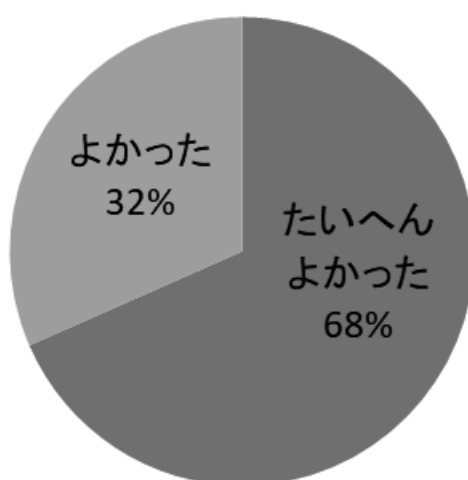
開催日	時間	テーマ	講師
9/17 （土）	13:30～16:00	社会福祉実習担当職員研修 「施設現場の実習でソーシャルワークをどう学ぶか」	<p>《話題提供》 龍谷大学 社会学部 教授 山田 容</p> <p>《コーディネーター 兼 話題提供》 花園大学 社会福祉学部 教授 福富 昌城</p> <p>《実習指導担当職員 話題提供》 迦陵園 川邊 直樹 紫野障害者授産所 篠田 孝一 東九条地域包括支援センター 出口 むつみ</p>

直後アンケート集計

	たいへんよかった	よかった	あまり参考にならなかった	合計
実習担当（人）	26	12	0	38
割合	68%	32%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった社会福祉実習担当職員研修38名についての結果。

研修直後の受講者の感想



感想（抜粋）

- ・新カリを円滑に運用し、福祉人材を育成するためには大学もともにカリキュラムの実際について共に考えて行く必要を感じました。
- ・ソーシャルワークを学ぶ学生が主体的に考え、学ぶことができるように実習プログラムを工夫していくことが大切だと気づきました。実習施設と養成校との連携は必要です。ディスカッションで課題等を共有することはできればよいと思います。

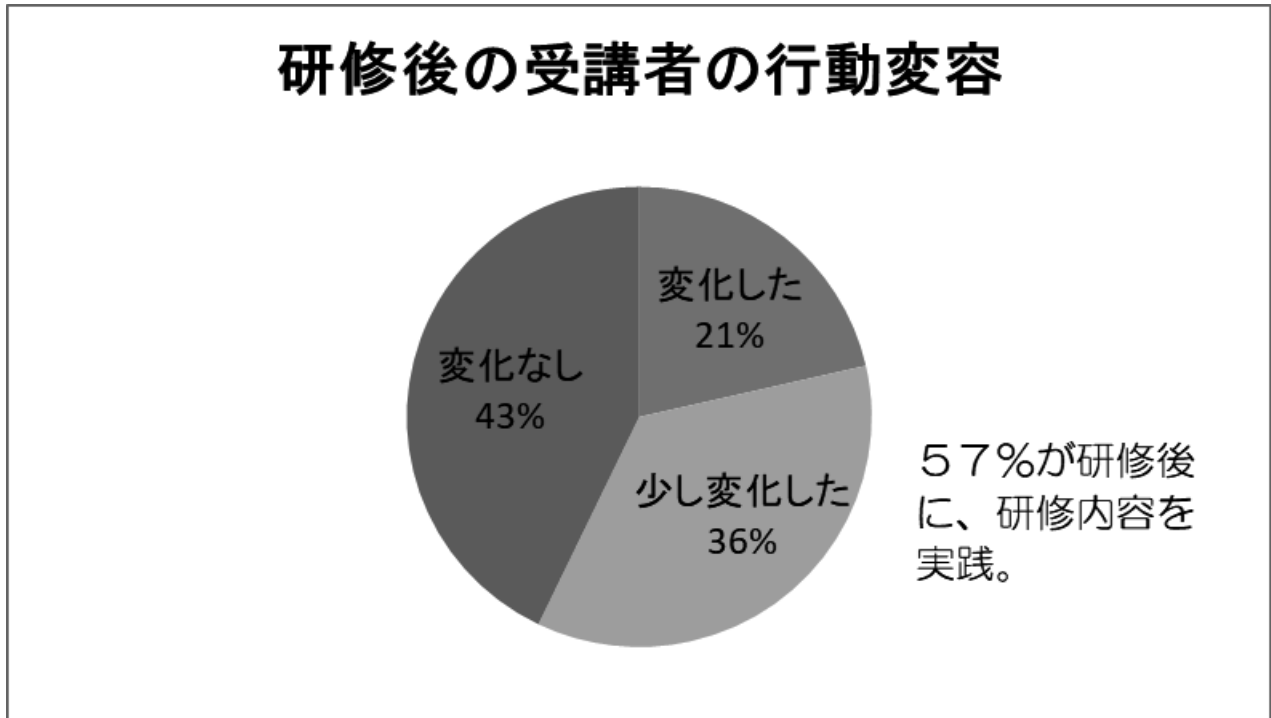
研修名	ファシリテーション～人を動かし、会議を活性化させる～ 《Zoomオンライン研修》
目的	会議の司会者になることはあるけど、活発な議論ができていない... 会議はするけど結論がハッキリしない... そんな会議を行っていませんか？ ミーティングや大事な会議の進行を行う時、「会議のゴールイメージ」を立てているかどうかで、結果は全く変わってきます。 職員の意見を引き出す方法や協議内容共有の方法（可視化）、効果的な「ファシリテーション」の技術など、演習を交えて学びます。
対象	市内社会福祉施設・団体の指導的職員
共催	京都市保育園連盟
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年8月8日（月）・17日（水） 午後のみ
開催日数	2日
定員	30名
受講人数	18名
申込者数	20名
会場	オンライン研修のため、会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
8/8 （月）	13:30～16:30	○講義・演習 「ファシリテーションの基本的考え方」 「人の意見やアイデアを引き出す技術」 「ラボラトリーという考え方（学びの循環）」	NPO法人学生キャリア支援 ネットワーク代表 株式会社 學匠 顧問・コンテンツプロデューサー 梶谷 康則
8/17 （水）		「会議を作るファシリテーション」 「チーム・ビルディングの大切さ」 「自分の性格や癖の分析と行動対策」 「まとめる技術の実践（どのようにまとめるか）」 「可視化の重要性と技術」 「会議運営の基本は、丁寧な準備から」 「ファシリテーション会議運営の実践」	

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
ファシリ (人)	3	5	6	14
割合	21%	36%	43%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったファシリテーション14名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・会議の場で独りよがりな意見や感情に任せた発言はしなくなりました。目指すゴールに向けて進んでいけるような発言を心がけるようになりました。
- ・会議の事前準備をするために、他の職員と話し合う回数や時間を増やすようになりました。

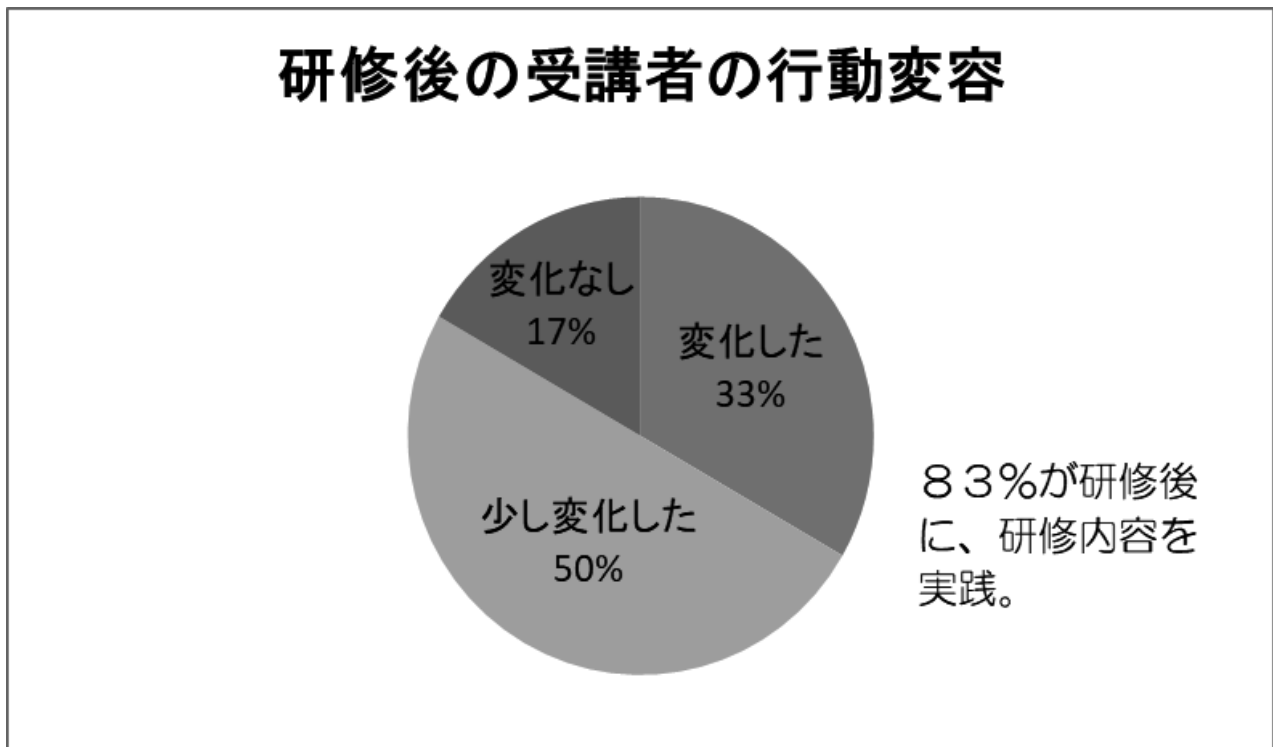
研修名	OJTリーダー育成研修 ～人を育てる！職場が変わる！！～
目的	<p>福祉職場における人材育成において、「職務を通して行うOJT」は職場の土台づくりそのものです。</p> <p>「きょうと福祉人材認証制度」においても事業所における「OJT体制の構築」の必要性が取り上げられるなど、OJTの重要度はますます高くなっています。</p> <p>この研修では、OJTにおいて育成チームの要となるOJTリーダーにスポットを当て、職場でOJTを導入し意図的・計画的・継続的に推進する手法の獲得を目指します。</p> <p>受講者であるリーダーには、実際に職場で対象者を定め、所属長の協力も得ながら自身の取り組みを振り返っていただくという職場実践も含めた「超参加型」研修です。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の指導的立場の職員
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年10月11日(火)・11月7日(月)・12月6日(火)
開催日数	3日
定員	24名
受講人数	21名
申込者数	25名
会場	京都私学会館

開催日	時間	テーマ	講師
10/11 (火)	10:00～16:00	○講義・演習 「OJTとは」 「OJT構築の方法」 「OJTの実践」 「OJTのためのコミュニケーション(コミュニケーションタイプ)」 「職場実践の共有」 「OJTのためのコミュニケーション(ほめて育てる)」	株式会社スリー・バイ・スリー 代表取締役 勝見 九重
11/7 (月)			
12/6 (火)			

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
OJT (人)	6	9	3	18
割合	33%	50%	17%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったOJTリーダー育成研修18名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・褒めることができるようになってから、スタッフが増々自主的に業務を遂行し、さらに同じ方向性でチームケアが実現できています。
- ・対象者が目標の壁に当たっていないかなど相談にのり、話を聞く回数が増え、コミュニケーションが以前より活性化しました。

研修名	福祉職員のためのアンガーマネジメント講座 ～怒りの感情と上手につきあうために～
目的	人と人との関わり合う福祉職場においては、心に余裕がない時、人間関係がうまくいっていない時など、相手に対してイライラすることがあります。 「怒り」は誰もが持っている感情で、それ自体は悪いものではありません。大切なのは、怒りをしっかりコントロールする術を身につけることなのです。 虐待防止対策のひとつともなっている「アンガーマネジメント」を学び、自分の感情と上手につきあうことで、よりよい支援を実践していきましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の部下をもつ指導的立場の職員
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年3月10日（金）
開催日数	1日
定員	40名
受講人数	31名
申込者数	32名
会場	京都リサーチパーク

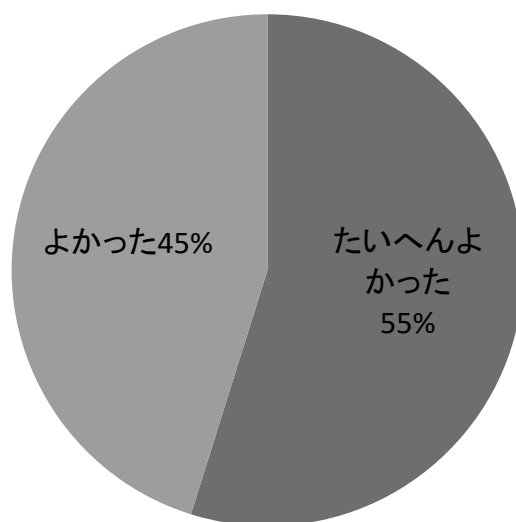
開催日	時間	テーマ	講師
3/10 （金）	10:00～16:00	○講義・演習 ・「アンガーマネジメント」とは ・「怒り」の感情とは ・「アンガーマネジメント」実践テクニック ・自分の「怒りの傾向」に合わせた対処法 ・怒りの原因となりやすい6つのコアビリーフ ・「アンガーマネジメント」を習慣化するために	株式会社ナースハート 代表取締役 一般社団法人日本アン ガーマネジメント協会 認定 アンガーマネジ メントコンサルタント 井上 泰世

直後アンケート集計

	たいへん よかった	よかった	あまり参考に ならなかった	合計
アンガー（人）	17	14	0	31
割合	55%	45%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったアンガーマネジメント講座31名についての結果。

研修直後の受講者の感想



感想（抜粋）

- ・他者の考えや意見を聞くことによって「自分が持っている感情は他者も感じていることなんだ。あまり怒らなくて良かったのでは。」と思うことができました。
- ・自分の怒りの傾向を知れ、意外に思ところもありましたが受け止めて今後活かそうと思います。

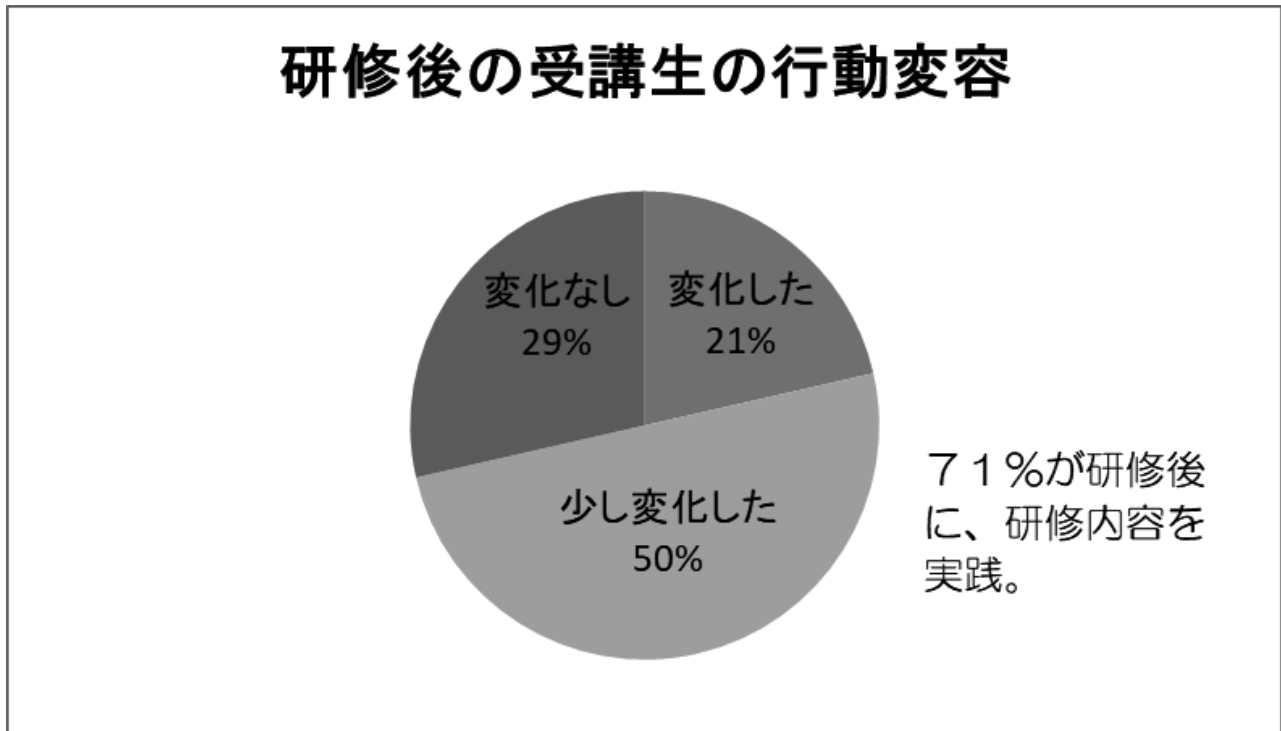
研修名	心に響く！伝える技術 プレゼンテーション研修 《Zoomオンライン研修》
目的	アイデアは持っているが、どう伝えればいいかわからなかったり、研修内容を他の職員に伝えたくても、わかりやすい伝え方がわからないのは、そういった伝え方を学んできていないからです。 プレゼンテーションは、企画提案や報告・連絡・相談、伝達研修などを相手に分かりやすく伝え、受け入れてもらうための技術です。 伝え方の基礎知識や工夫、実際のプレゼンテーションを見たり、演習に行うことにより、心に響く、伝える技術を学びます。
対象	市内社会福祉施設・団体の職員
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年5月26日（木）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	21名
申込者数	22名
会場	オンラインのため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
5/26 (木)	10:00～15:00	○講義・演習 「プレゼンテーションの基礎知識」 「プレゼンテーションの種類」 「プレゼンテーションの流れ」 「ストーリー作り」 「TEDに学ぶプレゼンテーション」 「演習 プレゼンテーションの実際」	京都光華女子大学 短期大学部 ライフデザイン学科 教授 森際 孝司

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
プレゼン（人）	3	7	4	14
割合	21%	50%	29%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったプレゼンテーション研修14名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・「知っているだろう」という先入観で説明しないことを心がけています。また、手振り身振りを大きくし、不用意な動きをしないよう身体表現の重要性を日々気にしています。
- ・以前は、下調べが不十分でプレゼン内容も薄いものだったが、受講後は現地に行って写真等の準備を行い、分からない部分もネットで調べるなどして事前準備を行っています。

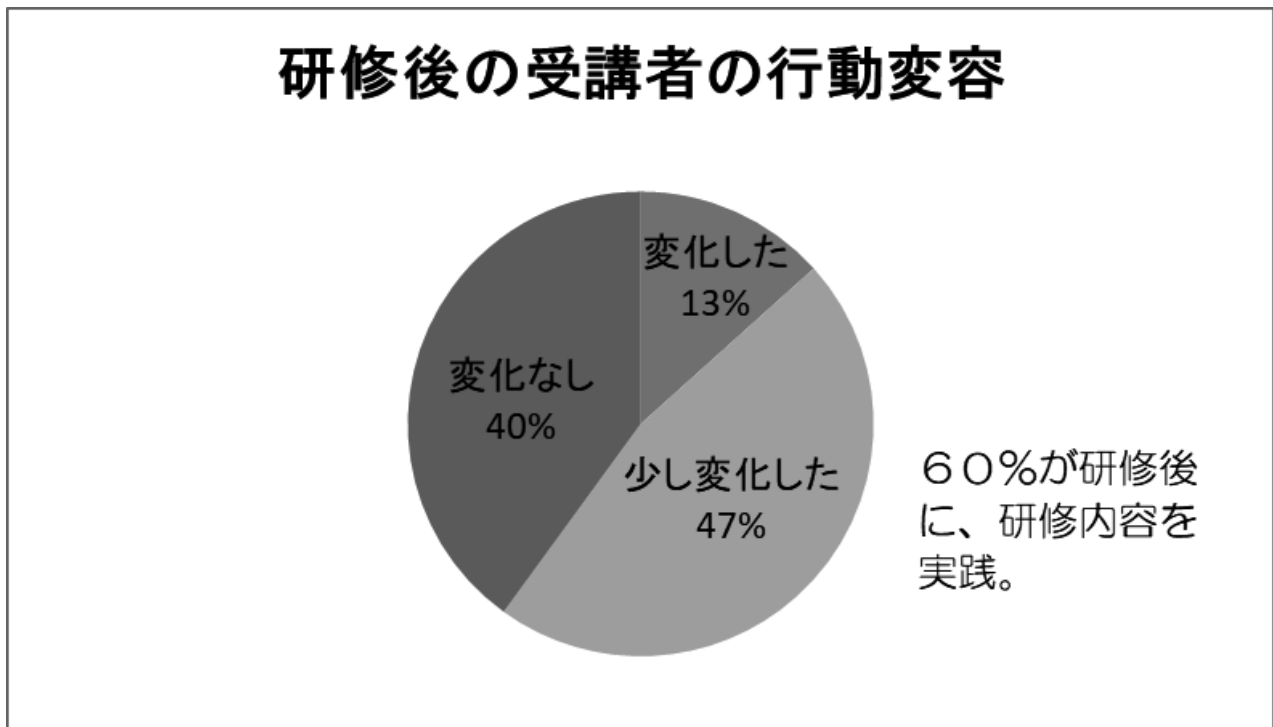
研修名	職員のやる気を引き出す モチベーション・マネジメント
目的	<p>現在の社会情勢として、働き方改革の推進により、残業の減少や働く職員の生産性向上（限られた時間で高い成果を出すこと）が問われるようになってきています。また、雇用の面では人材確保・定着が課題となっています。</p> <p>生産性を向上させるためには、職員ひとりひとりの『意欲』（やる気）を引き出すことが何よりも大切です。</p> <p>法人理念の実現に向けて職員の生産性を向上させるために、どのようにすれば職員の働く『意欲』（やる気）を引き出せるのか、その具体的な手法としての『モチベーション・マネジメント』を学びます。そして意欲を持って働ける『働きがい』のある職場づくりが、魅力的な職場につながり、人材確保や離職防止（人材の定着）にもつながるよう実践に活かせる研修を実施します。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の中堅・指導的立場の職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年12月14日（水）
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	23名
申込者数	29名
会場	ひと・まち交流館 京都

開催日	時間	テーマ	講師
12/14 （水）	10:00～16:00	<p>○講義・演習</p> <p>「研修転移」</p> <p>「坂を上がるための2つの力」 （坂の上の太陽）</p> <p>「外発的動機と内発的動機」</p> <p>「キャリア 登山型とトレッキング型の違いを理解する」</p> <p>「ABC理論」</p> <p>「モチベーションとデモチベーション」</p> <p>「育て上手なマネージャーと平均的なマネージャーの違いワーク」</p> <p>「今後の実践プランをつくる」</p>	<p>介護老人保健施設 おおやけの里 管理部次長 辻 智典</p>

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
モチベーション(人)	2	7	6	15
割合	13%	47%	40%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったモチベーション研修15名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・相談を受けた場合、責任感や生活、収入など「シンボウ・プッシュ」に関するアドバイスが多かったが、職員の状況に合わせて将来やキャリア、家族のことなど、また、利用者の求めるサービスを「ミーニング・ブル」をまじえてアドバイスを行えるようになりました。
- ・職員が何をモチベーションとして働いているのか？を気にするようになりました。モチベーションが下がっている職員に対しどんなアプローチをすべきか考えるようになった。

研修名	福祉職場のよりよい人間関係研修
目的	「職場の雰囲気は何となくよくない...」「コミュニケーションがうまくいかない」など、職場での人間関係に悩むことがあると思います。 この研修ではチームとは何か、コミュニケーションという仕組みなど人間関係をよりよくしていくためにできること等を学びます。
対象	市内社会福祉施設・団体の中堅・指導的立場の職員
協賛	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年11月11日(金)
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	16名
申込者数	17名
会場	ひと・まち交流館 京都

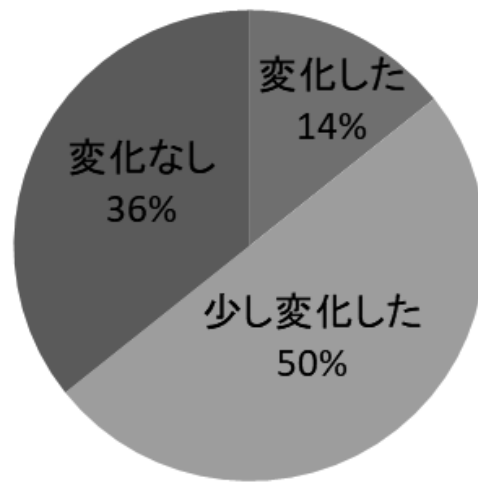
開催日	時間	テーマ	講師
11/11 (金)	13:30~16:30	○講義・演習 「職場とは」 「専門職に求められるもの」 「目標・チームとは何か」 「コミュニケーションを考える」 「言語・非言語のコミュニケーション」 「事例に基づくロールプレイ」等	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
人間関係（人）	2	7	5	14
割合	14%	50%	36%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった福祉職場のよりよい人間関係 研修14名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



64%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・困ったことや嫌だなと感じたことを「何で？そう思ったのか」と後で振り返れるようになり、冷静に考えられるようになりました。感情のコントロールができています。うれしい。続けたい。
- ・雑談する時間が依然と比べると増えました。そのためか、ユニットスタッフからも「～してみてもいいですか？」等の話が増えたように思います。

その他の研修

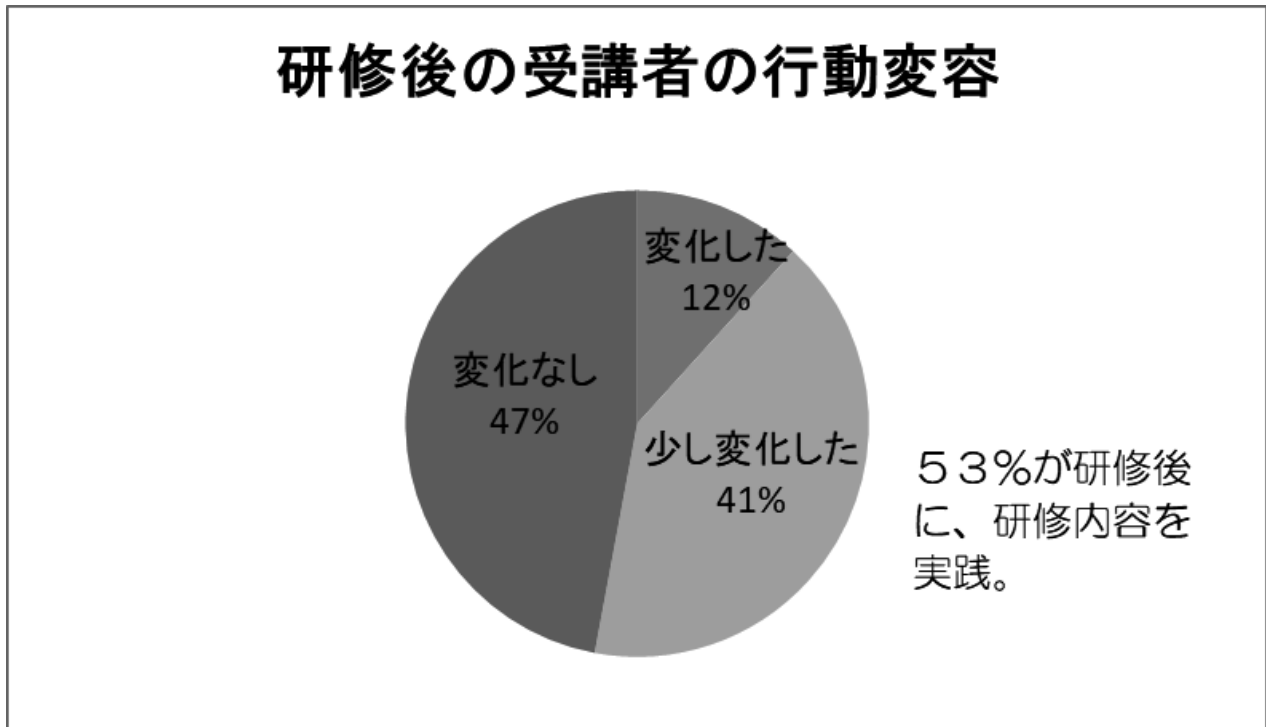
研修名	地域協働セミナー
目的	“連携・協働に効果的な知識・技術” 『多職種でうまく連携して支援したいけど、どうすればいいかわからない』、『地域住民とよりよい関係づくりをしていきたい』ということで悩むことがあると思います。 この研修では連携・協働をスムーズにするための知識・技術を学びます。 多職種・多機関の連携・協働を学び、地域共生社会づくりの実践に活かします。
対象	市内社会福祉施設・団体の中堅・指導的立場の職員
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和4年11月4日（金）
開催日数	1日
定員	20名
受講人数	20名
申込者数	21名
会場	京都私学会館

開催日	時間	テーマ	講師
11/4 (金)	10:00～16:00	○講義・演習 「連携・協働の意義」 「チームコーディネーション」 「実際の連携・協働の事例」 「地域アセスメントシート演習」 「連携・協働のプログラム作り演習」	関西福祉科学大学 社会福祉学科 教授 津田 耕一 京都光華女子大学 医療福祉学科 准教授 南 多恵子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
地域協働（人）	2	7	8	17
割合	12%	41%	47%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった地域協働セミナー17名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・近隣地区の包括センターと協働し、地域事業の手伝いをしながら、地域住民の体力測定や地域相談などにつながるよう進んでいます。
- ・学区ケア会議等で現在ある居場所を確認し、来年度に向けてどんなところにどんな居場所があり、不足している物は何かなど確認中です。状況に応じて変化を考え動き始めています。

研修名	施設長等管理者セミナー～管理者に求められる基本姿勢～ 《オンライン動画視聴型研修》
目的	<p>管理者は、事業の統括責任者であり、明確なビジョンを持ち、方針や目標を示し、組織を維持・発展させるための体制整備をしていくことが求められています。</p> <p>社会情勢が変化する中で、管理者としての基本に立ち戻り、改めて方針を確認していくこと等は、今後の事業運営のためにも大切になってきます。</p> <p>そこで、法人理念を職員に説明し、共通認識を図っていくことや組織方針に基づきミッションが達成できるよう職員を育成すること、利用者の生活環境の維持や改善を常に考え、事業所運営の観点から行動を起こすこと、アウトリーチを行うための環境を整えていくこと等、管理者としての基本姿勢を学び、実践に活かせるセミナーを動画視聴型研修で開催いたします。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の管理的職員等
主催	京都市社会福祉施設連絡協議会
開催時期	令和5年2月10日（金）～3月10日（金）
開催日数	1時間30分
定員	70名
受講人数	109名
申込者数	109名
会場	動画視聴型研修のため、会場なし

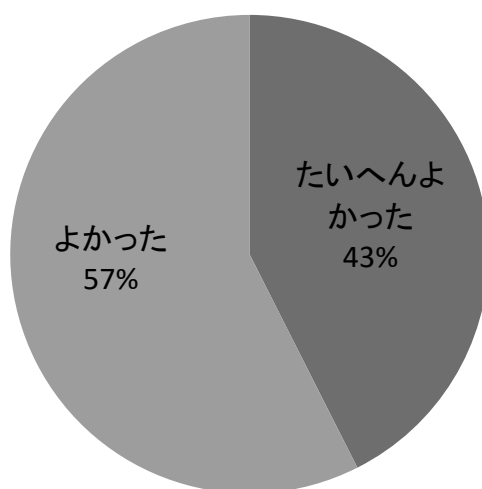
開催日	時間	テーマ	講師
2/10 （金） ～ 3/10 （金）	1時間30分	管理者に求められる基本姿勢	京都保育福祉専門学院 副学院長 岡本 匡弘

直後アンケート集計

	たいへん よかった	よかった	あまり参考に ならなかった	合計
管理者セミナー（人）	20	27	0	47
割合	43%	57%	0%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった管理者セミナー47名についての結果。

研修直後の受講者の感想



感想（抜粋）

・職員の獲得しているスキルの到達度合に応じて取組業務内容を選定し、本人の達成感や自己効力感を挙げていくことで、サービスの質の向上に繋がっていきたいと思います。

・職場が利用者の居場所でもあり、職員一人一人の居場所として位置つけられる環境づくり、雰囲気づくり率先して行い、チーム力をあげていく役割を担えるよう試行錯誤して行きたいと思いました。

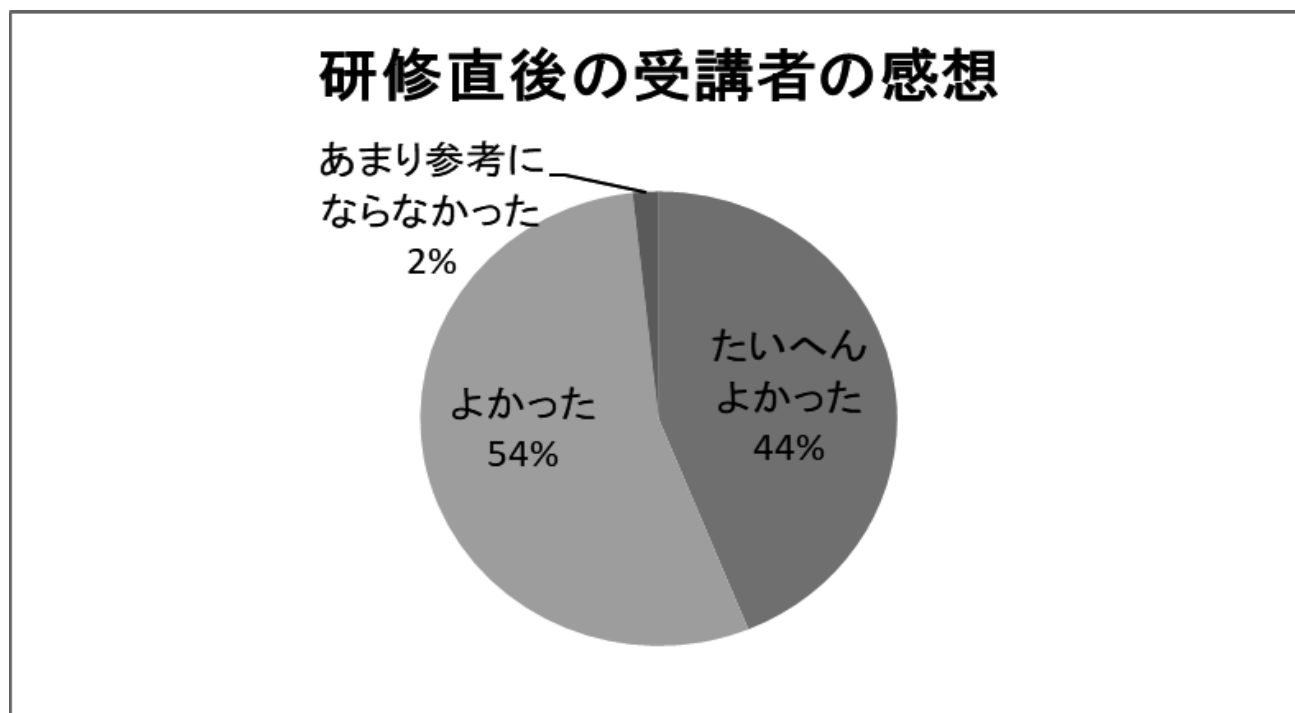
研修名	京都市地域子育て支援ステーション事業指定施設職員研修
目的	「京都市地域子育て支援ステーション事業」の充実及び指定施設職員の資質向上
対象	京都市地域子育て支援ステーション事業指定施設の職員
共催	—
開催時期	第1回 令和4年 7月15日(金)～8月15日(月)《動画視聴型研修》 第2回 令和4年11月21日(月) 第3回 令和5年 2月10日(金)～3月10日(金)《動画視聴型研修》
開催日数	3日
定員	第1回 動画のため定員なし 第2回 午前50名/午後50名 第3回 動画のため定員なし
受講人数	第1回 170名 第2回 午前45名/午後24名 第3回 138名
申込者数	第1回 170名 第2回 午前48名/午後32名 第3回 138名
会場	第1回は動画配信のため会場なし 第2回 京都リサーチパーク 第3回は動画配信のため会場なし

開催日	時間	テーマ	講師
7/15 (金) ～ 8/15 (月)	約1時間 30分	○オンライン動画視聴型研修 「相手との適切な距離感を保つ 対人援助のためのバウンダリー」	聖和短期大学 保育科 専任講師 小山 顕
11/21 (月)	9:30～ 12:00 13:30～ 16:00	○講義・演習 「保護者の自己肯定感が高まる相談支援」	フェリアン 副所長 津村 薫
2/10 (金) ～ 3/10 (金)	約1時間	○講義・演習 「WEBサイト・SNSを活用した効果 的な情報発信」	株式会社エイデル研究所 大園 早紀

直後アンケート集計

	たいへんよかった	よかった	あまり参考に ならなかった	合計
子育て③（人）	25	31	1	57
割合	44%	54%	2%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった子育て支援ステーション指定施設職員研修第三回57名についての結果。



感想（抜粋）

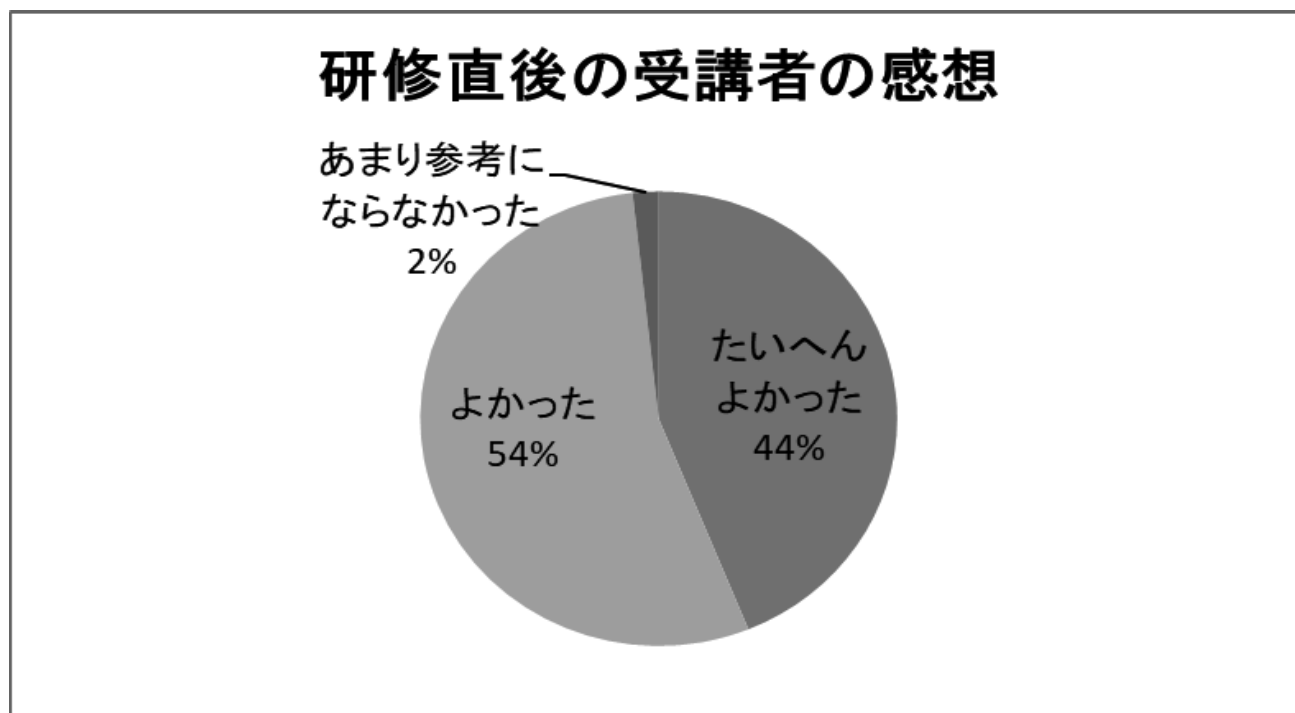
・SNS等の情報発信を難しく考えていました。SNS等の特徴も知り、誰に見てもらうか目的をもって行うことが大事だと言うことがわかりました。リアルタイムの更新をしない、写真1枚によって情報がたくさんわかってしまうなど注意点がわかりやすく説明されていました。リスクばかり目を向けがちですが、情報発信をする際にはチームで行い、児童館を周知してもらうために挑戦していきたいと思いました。ありがとうございました。

・情報発信が大切なことはわかっているものの、怖さが先にきているのは確かです。何に注意すれば良いかという点が良くわかりました。「個人のスマホでは撮影しない」等、基本的な注意部分を念押ししながら取り組んでみたいと思いました。

直後アンケート集計

	たいへんよかった	よかった	あまり参考に ならなかった	合計
子育て③（人）	25	31	1	57
割合	44%	54%	2%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった子育て支援ステーション指定施設職員研修第三回57名についての結果。



感想（抜粋）

・SNS等の情報発信を難しく考えていました。SNS等の特徴も知り、誰に見てもらうか目的をもって行うことが大事だと言うことがわかりました。リアルタイムの更新をしない、写真1枚によって情報がたくさんわかってしまうなど注意点がわかりやすく説明されていました。リスクばかり目を向けがちですが、情報発信をする際にはチームで行い、児童館を周知してもらうために挑戦していきたいと思いました。ありがとうございました。

・情報発信が大切なことはわかっているものの、怖さが先にきているのは確かです。何に注意すれば良いかという点が良くわかりました。「個人のスマホでは撮影しない」等、基本的な注意部分を念押ししながら取り組んでみたいと思いました。

研修名	介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修受講試験のための受験対策講座
目的	居宅介護支援事業者及び介護保険施設において必要とされている介護支援専門員（ケアマネジャー）養成について、「第25回介護支援専門員実務研修受講試験」の実施が予定されています。当講座は受験を希望する方への受験対策として開催します。
対象	受験希望者
共催	京都府社会福祉協議会 京都社会福祉士会
開催時期	令和4年 7月16日（土）、8月20日（土）、9月3日（土）、9月24日（土）
開催日数	4日
定員	56名
受講人数	49名（4日間延べ人数190名）
会場	第1・3・4日 ハートピア京都 第2日 こどもみらい館

開催日	時間	テーマ	講師
7/16 （土）	10:00～16:30	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー試験の全体像の把握 ・介護支援分野の詳細の把握 ・保健医療福祉サービス分野の詳細の把握 ・総復習 ・模擬試験 	（有）いとう総研 取締役 伊東 利洋
8/20 （土）	10:00～16:30		
9/3 （土）	10:00～16:30		
9/24 （土）	10:00～16:30		

介護実習・普及センター事業

介護実習普及センター事業

市民講座					
講座名	期日	内 容	定員	受講人数	掲載頁
介護基礎講座	随 時	・介護機器展示室の見学 ・介護技術 ・福祉用具の活用方法 ・その他	20～30	9 (1回)	89
介護体験講座	随 時	・高齢者疑似体験 ・大人用高齢者疑似体験セット「うらしま太郎」貸出し ・車いす・アイマスク体験	20～30	313 (13回)	89
小学生用「つくしくん」	随 時	・小学生用高齢者疑似体験セット「つくしくん」貸出し	—	12回	89
やさしい介護講座	4月26日	物忘れとは違う「認知症」症状の理解(医学的基礎知識)	50	42	90
	5月30日	排泄のしくみ、トラブル解消法、おむつのしくみ、おむつの当て方・選び方	20	16	
	10月31日		15	13	
	6月20日	入浴の効果、入浴の方法と介助、入浴関連用具の活用とお風呂の環境調整	各20	18	
	3月6日			14	
	7月6日	杖・シルバーカー・車いすを使った移動の方法と介助	各20	14	
	11月16日			9	
	9月9日～ 10月14日	寝返り・起き上がり・乗り移りの方法と介助 《オンライン動画視聴型講座》	—	15	
	1月16日	寝返り・起き上がり・乗り移りの方法と介助	20	13	
	12月14日	衣服の工夫、着替えの方法と介助	20	9	
1月23日～ 3月17日	よりよい介護と腰痛予防《オンライン動画視聴型講座》	—	22		
1月23日～ 3月17日	介護保険制度《オンライン動画視聴型講座》	—	21		
研修名	期日	内 容	定員	受講人数	掲載頁
対象不問					
いきいきライフセミナー	11月8日	食事と健康～生涯現役を目指すための食習慣～	50	26	94
	1月27日	身近な薬との上手な付き合い方	70	42	
	2月14日	幸せホルモンセロトニン	100	83	
専門職研修					
介護研修(専門職)	5月10日	認知症ケアの基本 パーソンセンタードケア	30	18	99
	7月22日	正しい褥瘡ケア(褥瘡予防、発生のメカニズム)	20	17	101
	10月25日	スピーチロックにならない共感を得るコミュニケーション	24	24	103
	6月7日	ベッド上での不良姿勢と改善策(ポジショニング)	20	19	105
	11月28日	車いす上での不良姿勢と改善策(シーティング)	24	15	107
スキルアップ研修	10月11日～ 11月30日	グリーンケア《オンライン動画視聴型研修》	—	20	109

介護機器普及事業					
事業名	開催	内容		利用数	掲載頁
福祉用具情報提供	通年	福祉用具情報や用具の使用技術に関する情報を提供する	展示点数	610	114
			見学者数	151	114
福祉用具シミュレーション事業	通年	専門職者に限り、福祉用具を一定期間貸し出し、使用評価を得る		28	114
介護・福祉用具の相談事業	通年	相談員を常時配置し、市民等からの電話や面接による相談を行う。各機関との連携を図る		867	114
インターネット福祉用具 展示品検索	通年	本センターで展示している福祉用具について、インターネットで検索できるよう情報を掲載する		1,084	

広報啓発事業		
事業名	開催	内容
インターネットによる情報発信	通年	本センターのホームページ及び京・福祉の研修情報ネットにおいて、講座・研修に関する周知を行う
講座案内パンフレットの発行	4～5回/年	市民一般・団体等に広く講座開催を周知することを目的として発行する
介護実習・普及センター事業報告書	1回/年	年度毎の事業の報告書を作成する

介護実習・普及センター連絡会議		
会議名	開催	会場
中日本ブロック介護実習・普及センター等関係機関連絡会議	11月30日	京都市

市 民 講 座

介 護 基 礎 講 座

- 1 目 的 希望テーマを選んで介護の一般知識や技術を学ぶ
- 2 内 容 以下の内容から選択
①介護機器展示室の見学
②介護技術
③福祉用具の活用方法
④その他
- 3 開 催 日 随時
- 4 対 象 者 どなたでも
- 5 定 員 30名程度まで
- 6 講 師 京都市社会福祉協議会 介護実習普及センター職員

	日 付	団 体 名	内 容	人 数
1	1月 23日	華頂短期大学	①介護機器展示室の見学 ③福祉用具の活用方法	9

介 護 体 験 講 座

- 1 目 的 希望テーマを選んで介護の一般知識や技術を学ぶ
- 2 内 容 以下の内容から選択
①高齢者疑似体験講座(大人用)
②車いす・アイマスク体験
- 3 開 催 日 随時
- 4 対 象 者 どなたでも
- 5 定 員 30名程度まで
- 6 講 師 京都市社会福祉協議会 介護実習普及センター職員

	日 付	団 体 名	内 容	人 数
1	4月 21日	ローズライフ京都	①高齢者疑似体験講座	2
2	5月 20日	ニチイ学館	①高齢者疑似体験講座	20
3	5月 26日	のぞみの園東九条特別養護老人ホーム	①高齢者疑似体験講座	25
4	6月 8日	京都精華学園中学校	①高齢者疑似体験講座	76
5	7月 1日	小川珈琲株式会社	①高齢者疑似体験講座	5
6	10月 21日	島本町傾聴ボランティア	①高齢者疑似体験講座	17
7	10月 28日	新道シニアクラブ	①高齢者疑似体験講座	16
8	12月 7日	下京中学校	①高齢者疑似体験講座	12
9	12月 8日	まさき工務店	①高齢者疑似体験講座	4
10	12月 22日	京都市健康長寿企画課	①高齢者疑似体験講座	6
11	2月 10日	西院中学校	①高齢者疑似体験講座	117
12	2月 20日	京都ジョグパーク	①高齢者疑似体験講座	3
13	2月 27日	左京南包括支援センター	①高齢者疑似体験講座	10
合計				313

高 齢 者 疑 似 体 験 (小 学 生 用) 「つくし君」 利用 状 況

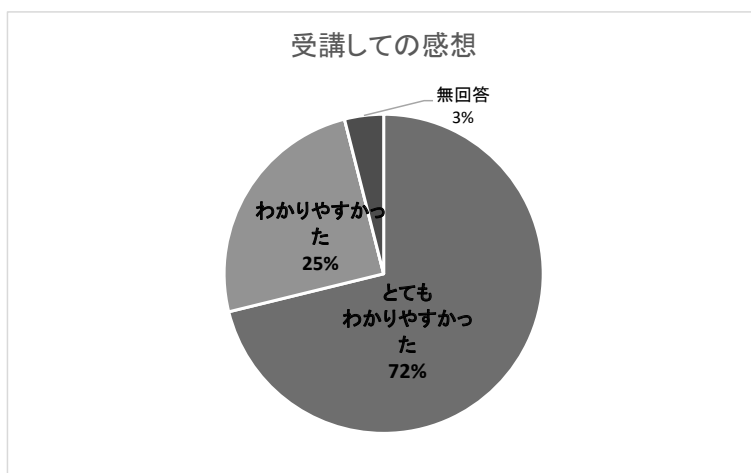
- 1 目 的 加齢による身体的な変化(筋力、視力、聴力などの低下)を知り、高齢者の気持ちや介護の方法、コミュニケーションの取り方を体験的に学ぶ
- 2 対 象 者 京都市内の介護・福祉・医療関係機関および教育機関

	日 付	団 体 名
1	6月 3日	桂坂小学校
2	6月 13日	京極小学校
3	8月 30日	九条塔南小学校
4	9月 28日	七条第三小学校
5	10月 7日	常盤野小学校
6	11月 15日	藤城小学校、藤森小学校
7	11月 30日	西院小学校
8	12月 9日	朱雀第六小学校
9	1月 17日	正親小学校
10	1月 24日	音羽川小学校
11	2月 6日	西京極小学校
12	3月 3日	勸修小学校

やさしい介護講座

1. 目 的 設定されたテーマを通して、介護の基本を学ぶ
2. 対 象 者 一般の方(福祉現場で勤務する者及び福祉系有資格者を除く)

	日程	時間	テ ー マ (内容)	講 師	申込 者数	受講 者数
1	4/26	13:30～ 15:30	もの忘れとは違う『認知症』症状の理解(医学的基礎知識)	三幸会 京都北山病院 院長 澤田 親男	57	42
2	5/30	13:30～ 16:00	排泄のしくみ、トラブル解消法、おむつのしくみ、おむつの当て方・選び方	はいせつ総合研究所 むつき庵 平田 亮子 大坪 麻理	21	16
3	6/20	13:30～ 15:30	入浴の方法と介助、入浴関連用具の活用とお風呂の環境調整	ぐりっど洛西訪問看護ステーション 奥村 雄一郎 (作業療法士)	20	18
4	7/6	13:30～ 15:30	杖・シルバーカー・車いすを使った移動の方法と介助	京都障害者福祉センター 奥村 栄浩 (介護福祉士)	15	14
5	9/9 ～ 10/14	動画	寝返り・起き上がり・乗り移りの方法と介助 《オンライン動画視聴型講座》	ぐりっど洛西訪問看護ステーション 奥村 雄一郎 (作業療法士)	17	15
6	10/31	13:30～ 15:30	排泄トラブル解消法～排泄のしくみとおむつの基本知識を学ぶ～ 《おでかけ介護講座》	はいせつ総合研究所 むつき庵 平田 亮子 大坪 麻理	15	13
7	11/16	13:30～ 15:30	杖・シルバーカー・車いすを使った移動の方法と介助	京都障害者福祉センター 奥村 栄浩 (介護福祉士)	10	9
8	12/14	13:30～ 15:30	衣服の工夫、着替えの方法と介助	訪問看護ステーション虹 西尾 希実重 (看護師)	14	9
9	1/16	13:30～ 15:30	寝返り・起き上がり・乗り移りの方法と介助	ぐりっど右京訪問看護ステーション 奥村 雄一郎 (作業療法士)	14	13
10	1/23 ～ 3/17	動画	よりよい介護と腰痛予防 《オンライン動画視聴型講座》	京都福祉サービス協会 神内 昭次 (理学療法士)	23	22
11	1/23 ～ 3/17	動画	介護保険制度 上手な利用と介護保険相談窓口 《オンライン動画視聴型講座》	御池地域包括支援センター 立見 和正 (主任介護支援専門員)	23	21
12	3/6	13:30～ 15:30	入浴の効果、入浴の方法と介助	ぐりっど右京訪問看護ステーション 奥村 雄一郎 (作業療法士)	19	14
合計					248	206

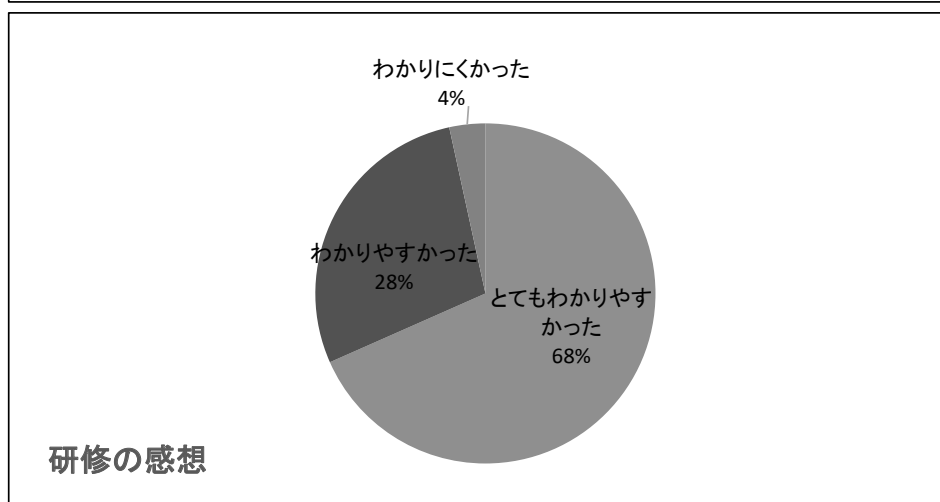
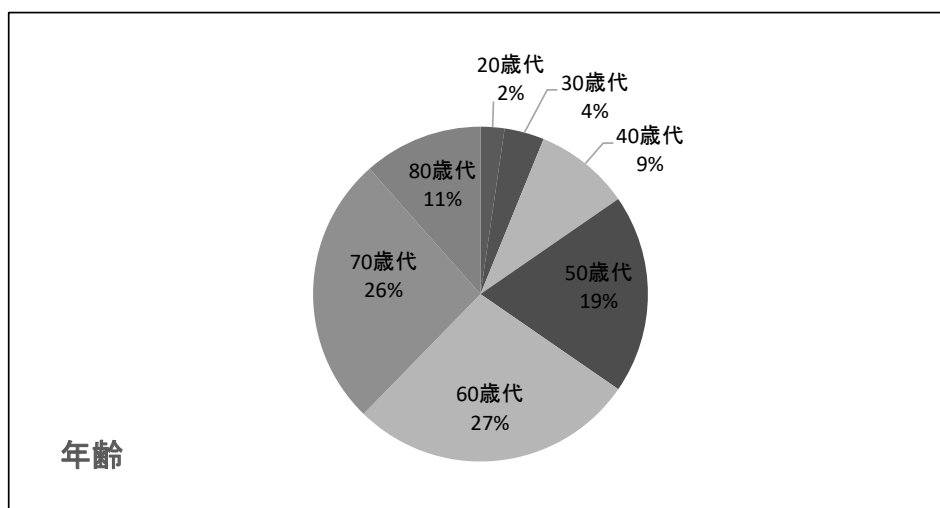


公 開 講 座

いきいきライフセミナー

- 1 目的 病気や障害、介護などのテーマに関わらず、要介護者、介護者どもの健康に関わる興味や関心を持てるよう開催する
- 2 対象者 テーマに関心がある方
- 3 講師 大学教授、医師などの専門職

受講者アンケート結果(回答130名)



	日程	時間	テーマ (内容)	講師	申込者数	受講者数
1	11/8	13:30～ 15:30	食事と健康 ～生涯現役を目指すための食習慣～	京都栄養医療専門学校 笹井 めぐみ	29	26
2	1/27	13:30～ 15:30	身近な薬との上手な付き合い方 ～薬の正しい使い方、かかりつけ薬局やお薬手帳の活用方法～	一般社団法人 メディカプラン京都 薬剤師 加藤 桂子	65	42
3	2/14	13:30～ 15:30	幸せホルモンセロトニン	京都府立医科大学 教授 内藤 裕二	100	83
合計					194	151

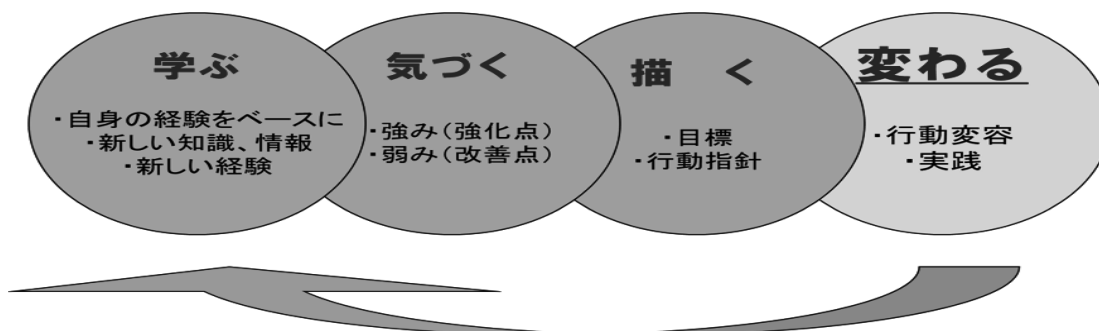
專 門 職 研 修

介護研修事業

今年度の状況と研修実施後の行動変容についてのアンケート結果（3ヶ月後アンケート結果）

研修は、学習したことを受講後に実践することで、業務に活かすことができ、サービスの質の向上等に役立てることができます。

社会人的な学びのスタイル

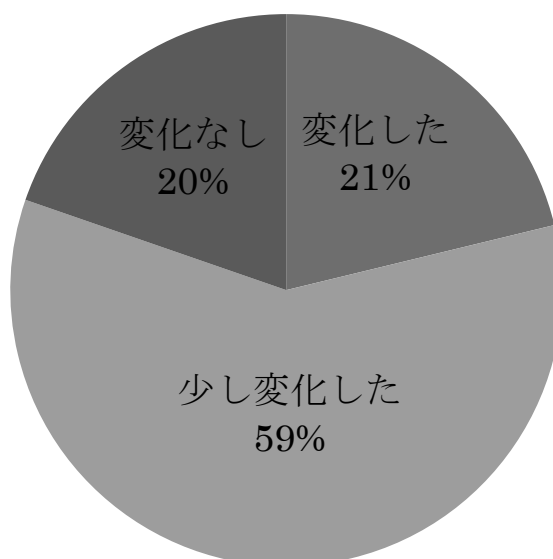


介護研修事業において、研修実施後に受講者が研修内容を実践し、どのように自らの行動を変化（行動変容）させたかについて、研修実施3ヶ月後にアンケートを実施。

令和4年度 介護研修 3ヶ月後アンケート全体集計

	変化した	少し変化した	変化なし	返信数
合計	14	39	13	66
割合	21%	59%	20%	100%

研修後の受講者の行動変容



80%が研修後に、研修内容を実践し、行動変容を起こした。

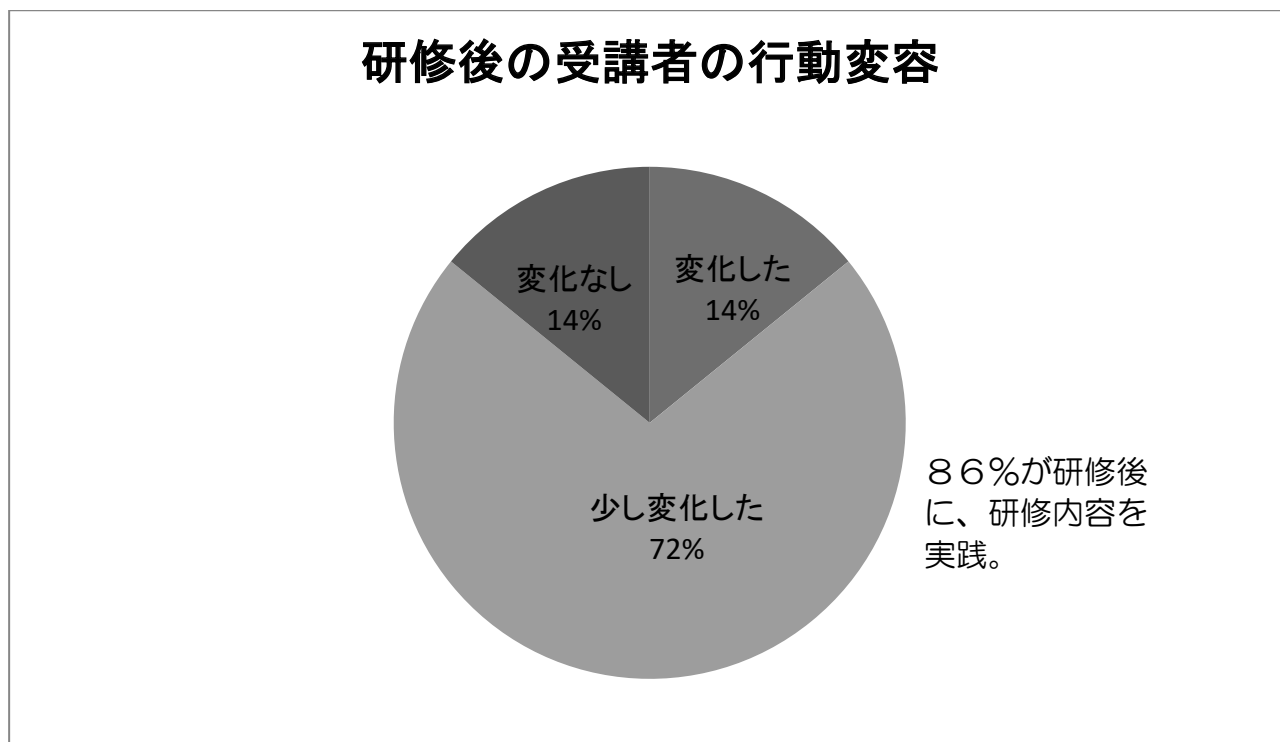
研修名	介護研修 基本① ～認知症ケアの基本 パーソン・センタード・ケア～
目的	業務で忙しく、本当に対象者の立場に立ったケアができているだろうかと悩むこともあると思います。この研修では、認知症の方の視点、その人の立場に立った考え方など、ひとりの人として尊重したケアを学びます。 対象者を中心としたケアの基礎を学び、よりよい支援に活かしましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員等
開催時期	令和4年5月10日（火）
開催日数	1日
定員	30名
受講人数	18名
申込者数	19名
会場	ひと・まち交流館 京都

開催日	時間	テーマ	講師
5/10 （火）	13:30～16:00	講義・演習 「認知症とは」 「認知症を持つ人の視点」 「パーソン・センタード・ケアとは」 「認知症の人のよい状態に影響する要因」 「認知症を持つ人の立場に立つための演習」 「DCMとは（DVD視聴）」	公益社団法人 京都府介護支援専門員会 DCM基礎マッパー 高木 はるみ

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
介護研修基本①（人）	2	10	2	14
割合	14%	72%	14%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった認知症ケアの基本 パーソン・センタード・ケア 14名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・認知症に対する深い知識を得たことにより、接し方やコミュニケーションの取り方が一変しました。自然と会話の中でお利用者の笑顔が見られる瞬間が増えました。
- ・研修受講後、認知症の症状や周りの環境など、その人を取りまく全てに視野を広げて見るように変化しました。

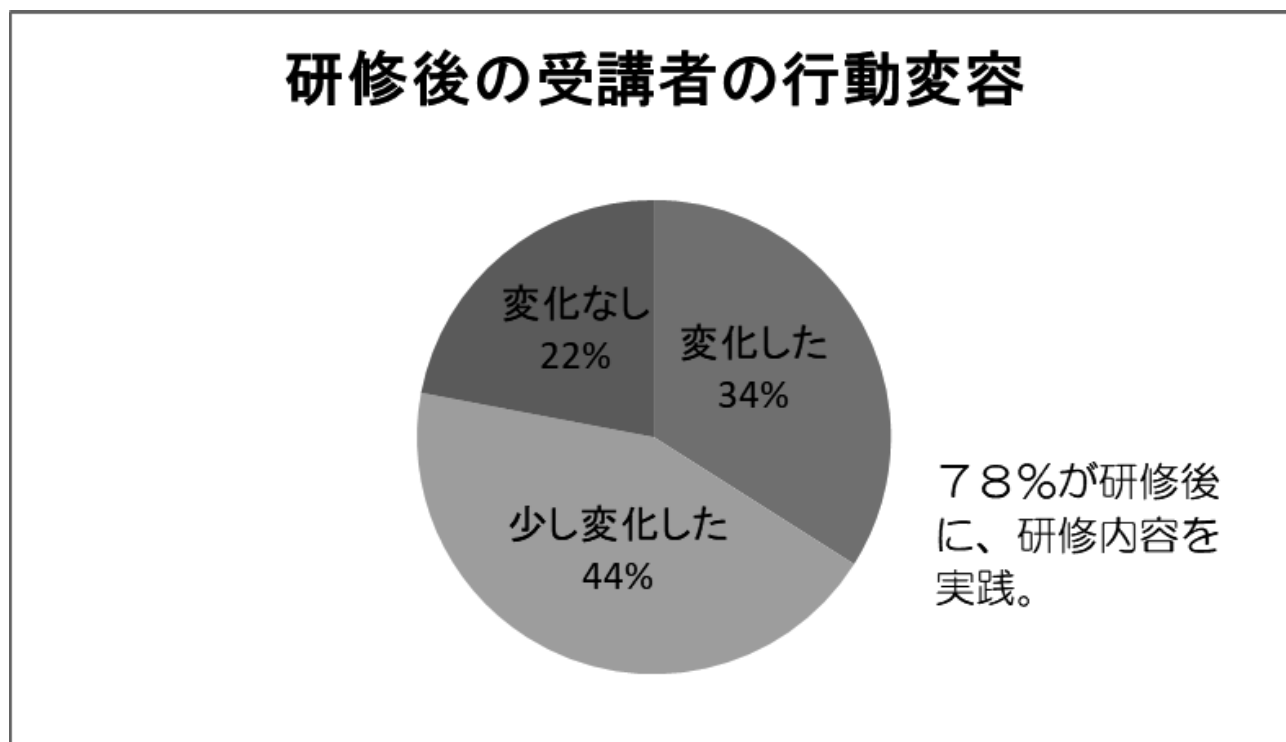
研修名	介護研修 基本② ～正しい褥瘡ケア（褥瘡予防、発生のメカニズム）～
目的	業務で忙しく、本当に対象者の立場に立ったケアができているだろうかと悩むこともあると思います。この研修では、認知症の方の視点、その人の立場に立った考え方などひとりの人として尊重したケアを学びます。 対象者を中心としたケアの基礎を学び、よりよい支援に活かしましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員
開催時期	令和4年7月22日（金）
開催日数	1日
定員	20名
受講人数	17名
申込者数	18名
会場	ひと・まち交流館 1階 福祉用具展示コーナー

開催日	時間	テーマ	講師
7/22 (火)	13:30～16:00	講義・実技 「褥瘡とは」 「リスクアセスメント」 「褥瘡予防ケア」 「圧力・ずれの排除」（実技）	社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 伊藤貢江

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
介護研修（基本②）（人）	3	4	2	9
割合	34%	44%	22%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった正しい褥瘡ケア9名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・研修受講後、移乗後のずれや摩擦に特に注意するようになりました。介助後の一手間によって予防できることを学び実践しています。
- ・栄養管理の大切さが理解できました。また、体位変えや背抜きの実技をグループで行い、枕一つ上手に活用することで、利用者の楽な姿勢や過ごし方が変わることを体感することができました。

研修名	介護研修 基本③ スピーチロックにならない共感を得るコミュニケーション
目的	業務で忙しい時、利用者に「ちょっと待って」や「危ないから座っててください」といった声をかけてしまうことはありませんか。普段、何気なく使っている言葉や態度が、利用者の行動を抑制してしまうことがあります。 この研修では、スピーチロック（言葉による身体拘束）を理解し、相手の共感を得るコミュニケーションについて学びます。対人援助職にふさわしい言葉がけを学び、よりよい支援に活かしましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員等
開催時期	令和4年10月25日（火）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	24名
申込者数	33名
会場	ひと・まち交流館 京都

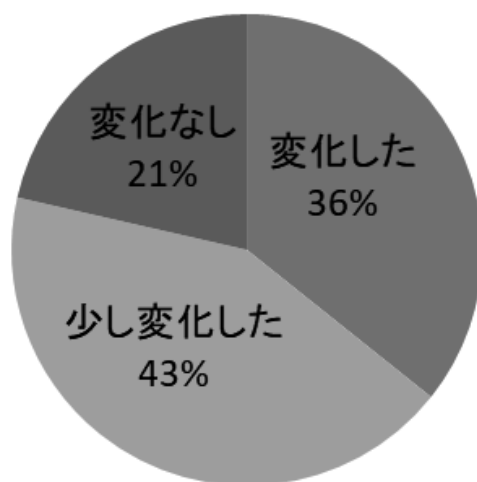
開催日	時間	テーマ	講師
10/25 （火）	13:30～16:00	講義・演習 ・スピーチロックとは ・スピーチロックが起きてしまう原因 ・相手に与える影響 ・共感を得るコミュニケーションとは	京都保育福祉専門学院 副院長 京都ほせん研修センター センター長 岡本 匡弘

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
介護研修（基本③）（人）	5	6	3	14
割合	36%	43%	21%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったスピーチロックにならない共感を得るコミュニケーション14名についての結果

研修後の受講者の行動変容



79%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・研修受講後、利用者、職員に対し、丁寧な対応、言葉遣いを心がけるようになりました。また、利用者が理解しやすいよう声掛けできるようになったと感じています。
- ・研修を受講し、想定外の急な利用者の行動に対し、なぜ？と考え、本人の希望される内容を聞きとり、対応するよう心がけています。

研修名	介護研修 応用① ベッド上での不良姿勢と改善策（ポジショニング）
目的	長時間ベッド上で過ごし、自由に身体を動かすことが難しい場合、心身に様々な影響が出てくる場合があります。 この研修では、ポジショニングの手法、観察することの重要性等を解説します。 ポジショニングを学ぶことで、快適で安定した姿勢を提供し、より良い支援につなげましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員等（概ね経験3年以上の方）
開催時期	令和4年6月7日（火）
開催日数	1日
定員	20名
受講人数	19名
申込者数	19名
会場	ひと・まち交流館 京都

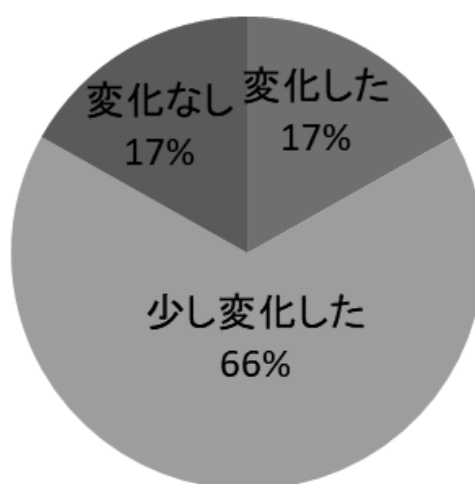
開催日	時間	テーマ	講師
6/7 (火)	10:00～16:00	講義・実技 「ポジショニングとは」 「褥瘡とは」 「皮膚に係る圧とズレ」 「高齢者の姿勢の特徴」 「褥瘡予防ケアの介助方法」 「ベッド上におけるポジショニングの実際」（実技）	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 人材開発部 研修担当部長 理学療法士 神内 昭次

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
介護研修（応用①）（人）	2	8	2	12
割合	17%	66%	17%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったベッド上での不良姿勢と改善策（ポジショニング）12名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



83%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・体圧測定で具体的な数値を知ったことで、ベッド上で安楽姿勢を整えるときに、日常的に意識して介助が行えるようになりました。また、他の職員に介助上の注意点について伝えるときも自信を持って伝えることができるようになりました。
- ・寝たきりの方の褥瘡や関節の筋肉が固まらないように配慮し、こまめに体の向きを変えるようにしています。

研修名	介護研修 応用② 車いす上での不良姿勢と改善策（シーティング）
目的	<p>車いすから身体がズレたまま座っていたり、片方に傾いた状態で食事をする不良な姿勢では、臀部褥瘡の発生や、誤嚥による肺炎など、心身に様々な影響が出てくる可能性があります。</p> <p>この研修では、シーティングの基本、車いすでよりよく座るための工夫等を学びます。</p> <p>シーティングを学ぶことで、快適で安定した姿勢を提供し、より良い支援につなげましょう。</p>
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員等（概ね経験3年以上の方）
開催時期	令和4年11月28日（月）
開催日数	1日
定員	24名
受講人数	15名
申込者数	15名
会場	ひと・まち交流館 京都

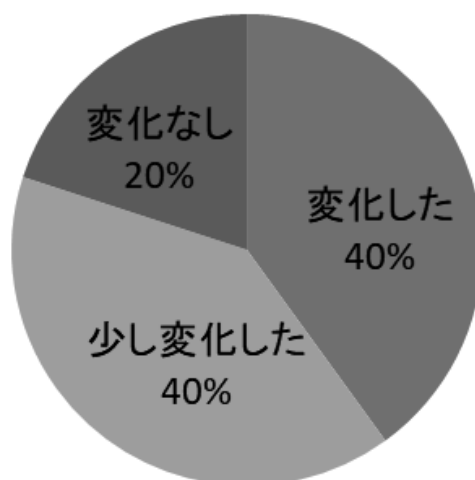
開催日	時間	テーマ	講師
11/28 （月）	10:00～16:00	講義・実技 ・シーティング（座位保持）とは ・対象者にあつた車いすや椅子の選定・調整 ・座位修正介助 ・車いす上におけるシーティングの実際（実技）	社会福祉法人 京都福祉サービス協会 人材開発部 研修担当部長 理学療法士 神内 昭次

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
介護研修（応用②）（人）	2	2	1	5
割合	40%	40%	20%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった車いす上での不良姿勢と改善策（シーティング）5名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



80%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・研修を受講し、特に食事における姿勢を意識するようになりました。円背の利用者の臥床、座位姿勢が改善されました。
- ・研修受講後、作業療法士や車イス業者との連携を積極的にとるようになりました。

研修名	スキルアップ研修 グリーフケア《オンライン動画視聴型研修》
目的	グリーフとは、死別などによる深い悲しみ、悲嘆を意味する言葉です。 様々な喪失と悲嘆を経験した、利用者や家族を支えていくことが、介護の現場でも求められています。 また、職員自身が利用者の死に向き合うことを迫られる場面もあります。 この研修では、介護職員に求められるグリーフケアの基本的な知識を学びます。利用者の思いに寄り添うことの重要性や職員自身のケアを学び、実践に活かしましょう。
対象	市内社会福祉施設・団体の介護職員
視聴期間	令和4年10月11日(火)～11月30日(水)
開催日数	1日
定員	—
受講人数	20名
申込者数	20名
会場	動画視聴型研修のため、会場なし

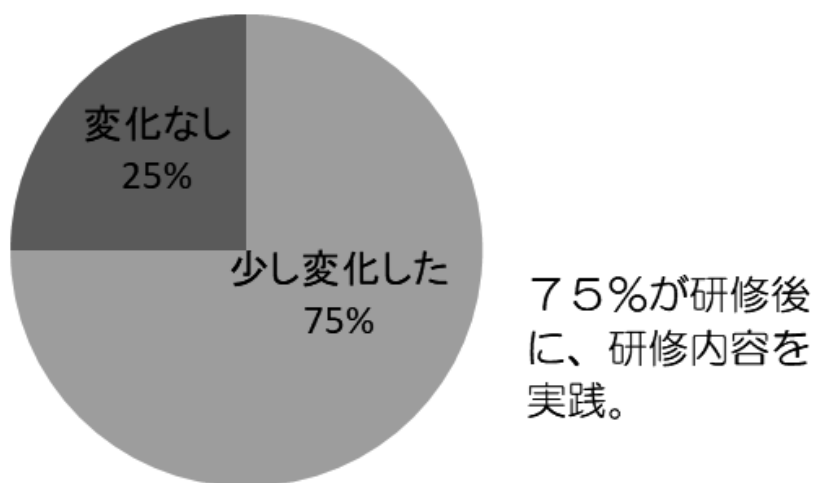
開催日	時間	テーマ	講師
10/11 (火) ～ 11/30 (水)	動画1時間30分	○講義・演習 ・グリーフとは ・介護職に求められるグリーフケア (他者のケア・自身のケア)	天理医療大学 医療学部 准教授 山本 佳世子

3ヶ月後アンケート集計

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
スキルアップ（人）	0	9	3	12
割合	0%	75%	25%	100%

※アンケートを実施し、返信のあったグリーフケア12名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



行動変容内容（抜粋）

- ・研修を受講し、看取りの際に、本人や家人へのアプローチがうまくでき、自分自身の心も負担なく寄り添えるようになりました。
- ・研修受講後に死に関わる機会があり、ピアケアとして職員同士でその「死」についての想いを語れるよう努めました。ケアや支援の方法など振り返りだけでなく、感情表現する機会の大切さを実感できました。

介護機器普及事業

令和4年度介護機器相談事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
見学者数	7	11	16	6	11	10	12	19	25	12	10	12	151

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
相談件数	70	49	69	54	47	48	88	66	104	122	94	56	867
来 所	6	10	16	6	8	5	10	15	19	11	10	11	127
T E L	30	11	20	31	28	13	29	29	36	75	42	26	370
メール	19	13	22	15	11	10	27	15	26	22	35	19	234
FAX	15	15	11	2	0	20	22	7	23	14	7	0	136

【相談項目】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
福祉用具	7	9	15	7	10	3	8	13	21	18	8	20	139
販売店	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
制度	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2
住宅改修	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
研修・講座	61	38	46	43	30	43	76	42	70	100	82	36	667
その他	1	2	8	4	7	2	3	11	13	7	3	0	61

【相談処理方法】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
問合せ	65	43	65	46	34	42	82	51	91	119	53	51	742
助言	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
情報提供	3	4	0	0	6	2	1	6	6	7	5	4	44
他機関紹介	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	1	2	4	4	5	4	5	9	7	0	0	1	42

【行政区別相談者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
北 区	2	1	0	0	1	2	7	0	2	4	1	2	22
上京区	0	2	3	1	2	2	6	3	2	3	1	2	27
左京区	9	4	9	12	5	1	1	2	11	15	8	7	84
中京区	7	2	3	0	4	1	5	4	9	11	7	1	54
東山区	1	2	0	0	0	0	6	5	11	8	1	3	37
山科区	10	4	5	7	3	2	12	9	7	16	11	13	99
下京区	4	4	10	3	2	5	7	7	15	9	2	3	71
南 区	3	7	3	2	4	8	7	7	1	5	10	0	57
右京区	6	5	5	2	1	3	6	7	15	5	12	2	69
西京区	7	4	10	4	0	6	18	6	10	22	8	8	103
伏見区	15	13	14	11	14	5	12	7	14	17	15	4	141
市 外	0	0	1	1	4	2	1	4	2	1	1	6	23
不 明	6	1	6	11	7	11	0	5	5	6	17	5	84
合 計	70	49	69	54	47	48	88	66	104	122	94	56	867

【介護機器シミュレーション事業】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
貸出件数	0	2	1	0	1	0	2	4	1	6	3	8	28

展示点数610点	相談者数867件	見学者数151人	介護機器シミュレーション事業28件
----------	----------	----------	-------------------

認知症介護実践研修

研修名	京都市認知症介護実践者研修 《Zoomオンライン研修》
目的	施設又は在宅に関わらず、認知症の原因疾患又は容態に応じ、本人又はその家族の生活の質の向上を図る対応及び技術を修得する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの基本的視点、理念及び倫理を理解する。 ・認知症の原因疾患、中核症状及び行動・心理症状を理解したうえで、介護方法を選択し、本人の能力を生かした環境調整や介護技術を実践する。 ・認知症の人の権利擁護、家族支援、社会資源の開発及び活用並びに認知症に関する最新知識を理解し、介護実践場面で実践する。 ・演習・自施設実習報告を通して、自分の意見や他者の意見を積極的に交換し、気づき、学びの理解を深める。
対象	京都市内の介護保険施設・事業所等で認知症介護に携わる介護職員 身体介護及び認知症介護に関する基本的知識・技術を修得し、かつ、介護現場経験が2年以上ある者
開催時期	①（第1回）令和4年 5月20日（金）～令和4年 7月 8日（金） ②（第2回）令和4年 7月14日（木）～令和4年 9月 2日（金） ③（第3回）令和4年10月27日（木）～令和4年12月23日（金） ④（第4回）令和5年 1月12日（木）～令和4年 3月 9日（木）
開催日数	各回7日間
定員	234名
受講人数	234名
申込人数	375名
会場	オンライン研修：ひと・まち交流館 京都 実習：受講者所属施設・事業所
講師	京都市認知症介護指導者

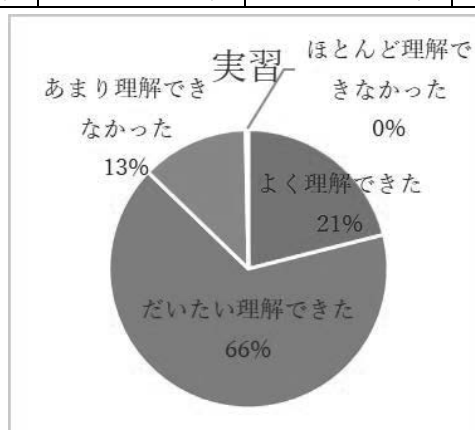
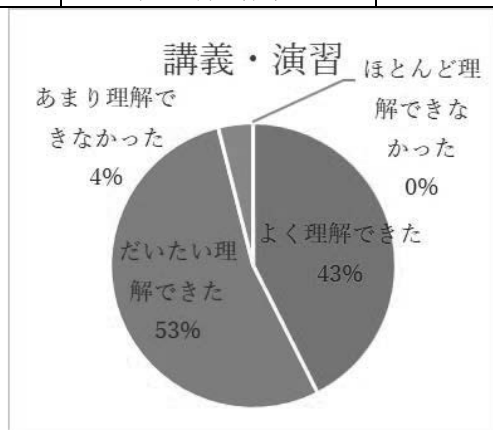
	開催日	時間	科目	講師（所属）
1 日 目	① 5月20日（金） ② 7月14日（木） ③ 10月27日（木） ④ 5年1月12日（木）	10:00～ 10:15	オリエンテーション	山田 晃（社会福祉研修・介護実習普及センター） 今村 和之（社会福祉研修・介護実習普及センター）
		10:15～ 12:45	認知症ケアの基本的視点と理念 自己課題の設定	澤田 卓（介護老人保健施設博寿苑） 奥田 千夏（介護老人保健施設おおやけの里） 江谷 政芳（グループホームさいわい）
		13:45～ 15:15	認知症ケアの倫理	
		15:15～ 17:45	認知症の人の理解と対応	井藤 晴美（京都福祉サービス協会）
2 日 目	① 5月25日（水） ② 7月25日（月） ③ 11月 1日（火） ④ 5年1月20日（金）	10:00～ 11:30	認知症の人の権利擁護	木村 悠紀（介護老人保健施設おおやけの里） 岩崎由香里（グループホームかたぎはら）
		11:30～ 13:00	認知症の人の生活環境づくり	中井 功二（特別養護老人ホーム洛東園）
		14:00～ 16:00	地域資源の理解とケアへの活用	橋本 千恵
		16:00～ 17:30	認知症の人の家族への支援方法	平島みどり（京都市修徳特別養護老人ホーム）

職場実習フォロー	
目的	研修内容の実効性を高めるために実習の進捗状況を報告し、実習を進める上での課題と今後の方針を決定する。
自施設実習評価	
目的	アセスメントやケアの実践に関する計画の実施結果を整理した上で、客観的に評価分析し、今後の課題を明確にすることができる。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実施した実践計画を整理し、他者に伝えることができる。 ・認知症の人にとって有益な実践計画であったか客観的に評価し助言することができる。 ・結果を分析し、今後の課題を明確にすることができる。

【科目の到達目標に対する自己評価】

科目の到達目標ごとに自己評価の段階別回答数を集計し、受講者全体としての理解度を示した。

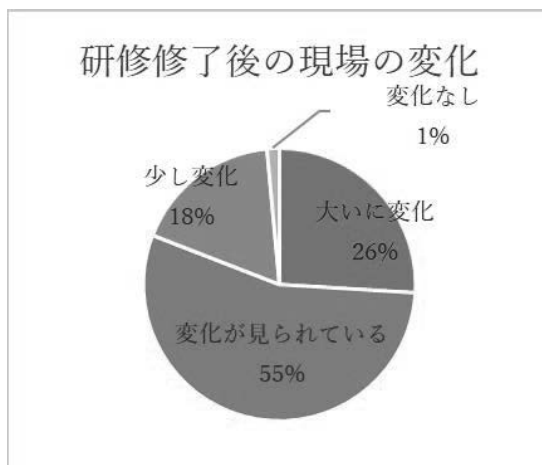
評価基準		よく理解できた	だいたい理解できた	あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった
講義・演習	到達目標数：35項目 回答のべ人数：7828人	3330	4188	308	2
	割合 (%)	43%	53%	4%	0%
実習	到達目標数：3項目 回答のべ人数：641人	135	424	80	2
	割合 (%)	21%	66%	13%	0%



【研修受講効果】

管理者からみた研修終了後の現場の変化

評価基準	大いに变化あり	変化が見られている	少し変化がみられる	ほとんど変化なし
回答人数：204人	53	112	36	3
割合 (%)	26%	55%	18%	1%



研修名	京都市認知症介護実践リーダー研修 《Zoomオンライン研修》
目的	ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識、技術及び態度を指導する能力並びにチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の病態、発症要因、発症メカニズム、最新の薬物治療に関する専門かつ最新の知識の修得、認知症に関する最新の施策動向及び各地域における施策の実施状況を理解する。 ・チームの方向性を明確にし、ケア方法を共有化する方法を習得し、それらのチームマネジメント手法を認知症ケアにおいて展開する。 ・倫理に関する考え方や判断、認知症に伴う行動・心理症状への介護、食事、排泄、入浴等の基本的な生活行為への支援、権利擁護並びに家族支援に関する教育及び指導方法を理解する。
対象	京都市内の介護保険施設・事業所等で認知症介護に携わる介護職員 介護現場経験が5年以上あり、施設・事業所等においてケアチームのリーダー（リーダーになることが予定される者を含む）かつ、認知症介護実践者研修もしくは旧認知症介護実務者研修（基礎課程）を修了し1年以上経過している者
開催時期	令和4年 9月 8日（木）～令和4年11月22日（火）
開催日数	講義・演習11日間、職場実習18日間
定員	30名
受講人数	15名
申込人数	15名
会場	オンライン研修：ひと・まち交流館 京都
講師	京都市認知症介護指導者

	開催日	時間	科目	講師(所属)
1 日 目	9月8日(木)	9:30～ 9:45	オリエンテーション	山田 晃 今村 和之 (社会福祉研修・介護実習普及センター)
		9:45～ 10:45	認知症介護実践リーダー研修 の理解	辻 智典 (介護老人保健施設おおよけの里)
		10:45～ 14:45	認知症介護実践リーダーの役割	澤田 卓 (介護老人保健施設博寿苑)
		15:00～ 18:00	チームにおけるケア理念の 構築方法	中井 功二 (特別養護老人ホーム洛東園)
2 日 目	9月14日(水)	9:30～ 12:30	認知症ケアにおけるチームア プローチの基本と実践	辻 智典 (介護老人保健施設おおよけの里)
		13:30～ 17:00	認知症の人へのアセスメント とケアの実践に関する指導	福島 佑毅 (高齢者福祉総合施設健光園あらしやま)
3 日	9月21日(水)	9:30～ 12:30	認知症の専門的理解	井藤 晴美 (京都福祉サービス協会)

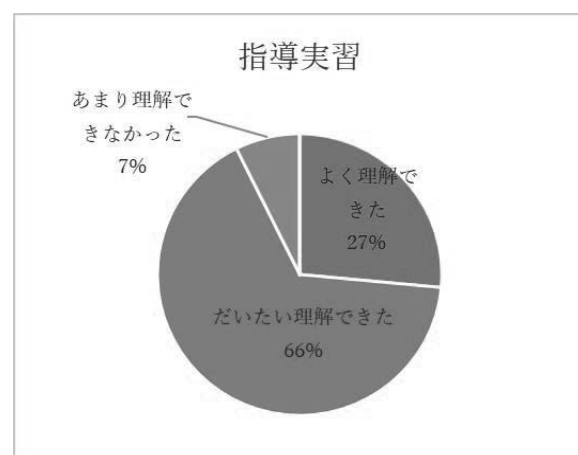
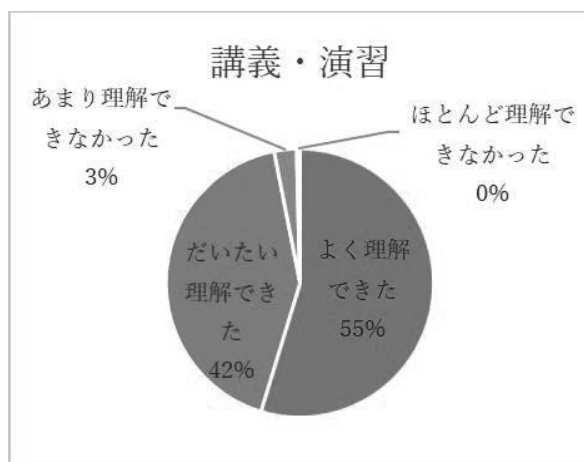
目		14:00～ 17:00	職場内教育（OJT）の方法の 理解と実践Ⅰ（運用法）	辻 智典（介護老人保健施設おおよけの里）
4 日 目	9月26日（月）	9:30～ 17:00	職場内教育（OJT）の方法の 理解と実践Ⅱ（技法）	辻 智典（介護老人保健施設おおよけの里）
5 日 目	9月30日（金）	9:30～ 12:30	実践者へのストレスマネジメ ントの理論と方法	平島みどり（高齢者福祉施設修徳特別養護老人ホーム）
		13:30～ 17:00	チームケアのためのケースカ ンファレンスの技法と実践	宮本 路加（高齢者福祉総合施設ももやま）
6 日 目	10月4日（火）	9:30～ 13:00	認知症ケアに関する施策の動 向と地域展開	橋本 千恵
		14:00～ 15:00	認知症ケアの指導の基本的視点	澤田 卓（介護老人保健施設博寿苑）
		15:00～ 17:00	認知症ケアに関する倫理の指導	澤田 卓（介護老人保健施設博寿苑） 藤田 崇（居宅介護支援事業所博寿苑）
7 日 目	10月12日（水）	9:30～ 13:00	認知症の人の行動・心理症状 （BPSD）への介護技術指導	城山いづみ
		14:00～ 17:00	認知症の人への介護技術指導 （食事・入浴・排泄等）	平島みどり（高齢者福祉施設修徳特別養護老人ホーム）
8 日 目	10月17日（月）	9:30～ 13:00	認知症の人の権利擁護の指導	木村 悠紀（介護老人保健施設おおよけの里） 岩崎由香里（小規模多機能かたぎはら）
		14:00～ 17:00	認知症の人の家族支援方法の 指導	平島みどり（高齢者福祉施設修徳特別養護老人ホーム） 細井 妙子（グループホーム四条大宮）
9 日 目	10月24日（月）	9:30～ 12:00	自施設実習の課題設定	辻 智典（介護老人保健施設おおよけの里）
		13:00～ 13:30	実習オリエンテーション	山田 晃（社会福祉研修・介護実習普及センター）
		13:30～ 17:00	自施設実習の課題設定	京都市認知症介護指導者
職 場 実 習	10月25日（火）～11月21日（月）			
1 0 日 目	11月9日（水）	14:00～ 17:00	職場実習フォロー	京都市認知症介護指導者
1 1 日 目	11月22日（火）	9:30～ 17:00	結果報告 自施設実習評価	京都市認知症介護指導者

職場実習	
実習先	受講者所属施設・事業所
実習目的	・本研修の総合的学習として、実習をとおり、実践リーダーとしての役割の理解を深め、その技能を磨く。
実習目標	・現場職員の認知症ケア能力の評価と課題の抽出を行うことができる。 ・現場職員の認知症ケアにおける指導目標を立案することができる。 ・指導目標に応じた指導計画を作成することができる。 ・講義・演習で学んだ指導方法を実際に活用することができる。
実習内容	実習計画に沿って実習協力者の認知症ケア能力について評価を行っていき、その結果を実習協力者と共有し、そのうえで実習協力者の認知症ケアに関する課題と目標を検討し、指導計画を作成する。 【1週目】実習協力者への同意取得。実習協力者の認知症ケア能力の評価方法の作成と評価の実施 【2週目】実習協力者の認知症ケア能力の評価と課題の抽出 【3週目】評価結果の分析による指導目標の策定及び評価結果の共有 【4週目】認知症ケア指導計画書の作成、共有
職場実習フォロー	
目的	実習の進捗状況や成果等を報告し課題と今後の方針を決定する。
結果報告／自施設実習評価	
目的	実習を通して認知症ケアの指導の方法に関する課題やあり方について客観的・論理的に考察・報告し、実践リーダーとしての指導の方向性を明確にできる。
目標	・認知症ケアの指導方法の課題やあり方について客観的・論理的に考察し、報告することができる。 ・実習協力者への認知症ケア指導の課題を評価し、指導の方向性を計画にすることができる。

【科目の到達目標に対する自己評価】

科目の到達目標ごとに自己評価の段階別回答数を集計し、受講者全体としての理解度を示した。

評価基準		よく理解できた	だいたい理解できた	あまり理解できなかった	ほとんど理解できなかった
講義・演習	到達目標数：48項目 回答のべ人数：773人	423	326	21	3
	割合 (%)	55%	42%	3%	0%
指導実習	到達目標数：5項目 回答のべ人数：68人	18	45	5	0
	割合 (%)	27%	66%	7%	0%



【研修受講効果】

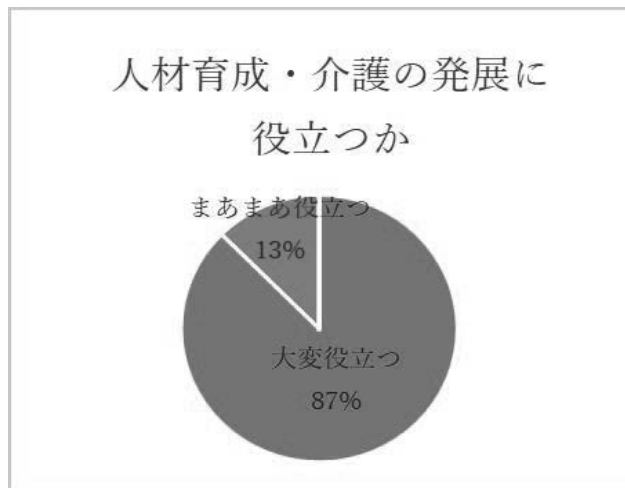
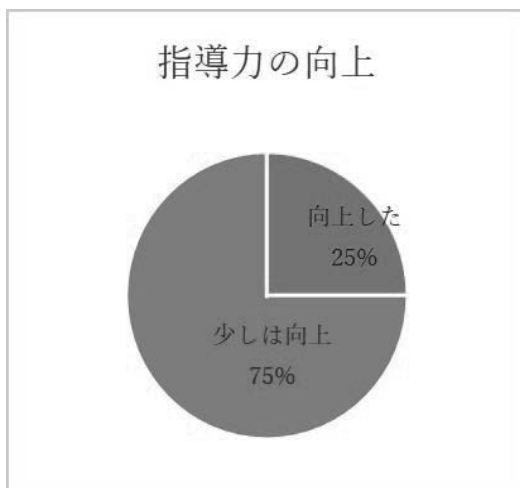
受講者自身の指導力の向上

評価基準	向上した	少しは向上した	あまり向上しなかった	ほとんど向上しなかった
回答人数：12人	3	9	0	0
割合 (%)	25%	75%		

【研修終了後の管理者の評価】

研修での学びは事業所の認知症介護の発展及び人材育成に役立つか

評価基準	たいへん役立つ	まあまあ役立つ	あまり役立つしない	全く役立つしない
回答人数：38人	21	3	0	0
割合 (%)	87%	13%		



区役所・支所福祉業務職員研修

令和4年度 区役所・支所福祉業務職員研修《オンライン動画視聴型》

研修の名目			講師	対象者数	受講者数
新任	①	対人援助(クレーム対応を含む。)	浅野 衣子	107	81
新任	②	インテーク・アセスメントをはじめとする相談援助活動	増田 康夫	107	51
新任	③	要援護高齢者・認知症に係る相談援助の留意点	眞辺 一範	107	73
新任	④	ひとり親家庭等に係る相談援助の留意点	芹澤 出	114	89
新任	⑤	精神障害に係る相談援助の留意点	橋本 史人	107	76
新任	⑥	視覚・聴覚・知的障害に係る相談援助の留意点	河野 翔太	100	73
新任	⑦	社会保険(医療・雇用・労災・介護保険等)の基礎知識	佐竹 康男	109	79
新任	⑧	社会福祉協議会の事業	京都市社会福祉協議会	98	70
2年目	⑨	発達障害に係る相談援助の留意点	京都市発達障害者支援センターかがやき	108	75
2年目	⑩	ホームレス・刑務所出所者に係る支援ツール, 関係機関	京都府地域生活定着支援センターふいっと	128	108
2年目	⑪	児童虐待に係る支援ツール, 関係機関	橋本 和明	108	88
2年目	⑫	権利擁護(成年後見制度)の知識	萩原 卓司	108	89
2年目	⑬	交通事故, 借金の法律知識	山下 信子	98	76
2年目	⑭	母子世帯の扶養の法律知識	本條 裕子	98	78
新任係長	⑮	スーパービジョンの方法と実際	栗田 修司	28	23
			合計	1,525	1,129

令和4年度 区役所・支所福祉業務職員研修

研修事後アンケート結果（全体）

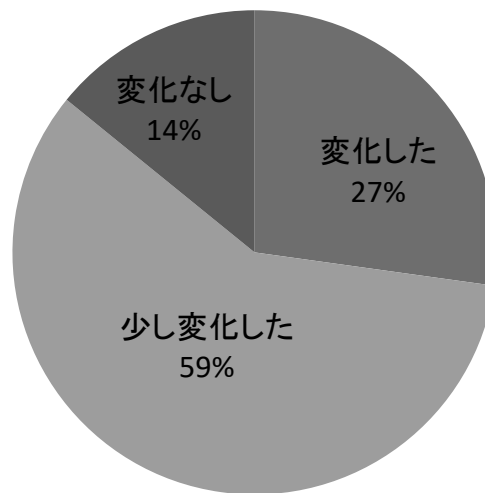
I 一番参考になった研修

新任ワーカー	⑦社会保険（医療・雇用・労災・介護保険等）の基礎知識
2年目ワーカー	⑭母子世帯の扶養の法律知識
新任係長	①開かれたスーパービジョンのシステム

II 行動変容

	変化した	少し変化した	変化なし	返信数
新任ワーカー	12	23	6	41
2年目ワーカー	13	26	6	45
新任係長	0	4	1	5
合計	25	53	13	91
割合	27%	59%	14%	100%

研修後の受講者の行動変容



86%が研修後に、
研修内容を実践。

新任ケースワーカー 事後アンケート集計

I 一番参考になった研修

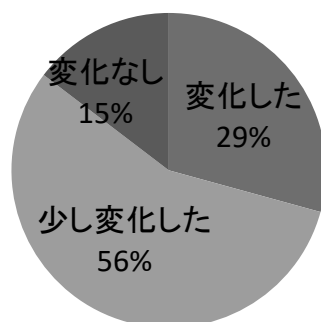
研修名	回答数
①対人援助（クレーム対応を含む）	8
②インテーク・アセスメントをはじめとする相談援助活動	2
③要援護高齢者・認知症に係る相談援助の留意点	0
④ひとり親家庭等に係る相談援助の留意点	1
⑤精神障害に係る相談援助の留意点	7
⑥視覚・聴覚・知的障害に係る相談援助の留意点	2
⑦社会保険（医療・雇用・労災・介護保険等）の基礎知識	13
⑧社会福祉協議会の事業	8
回答なし	0
合計	41

II 行動変容

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
新任ワーカー（人）	12	23	6	41
割合	29%	56%	15%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった41名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



85%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

- ・社会保険に関する基礎知識を再度学ぶことで、受給者に対して説明を求められた際に正確な情報を伝達することができました。また、生活保護の制度上、他の施策が活用できる場合は優先されるので、他施策を活用するように指示をしていかなければならない意識を改めて持つようになりました。

- ・精神障害を持つ方の様々な生きづらさを知り、業務を遂行する際、念頭に置くことで対応の幅が若干広がっているのではないかと感じます。

2年目ケースワーカー 事後アンケート集計

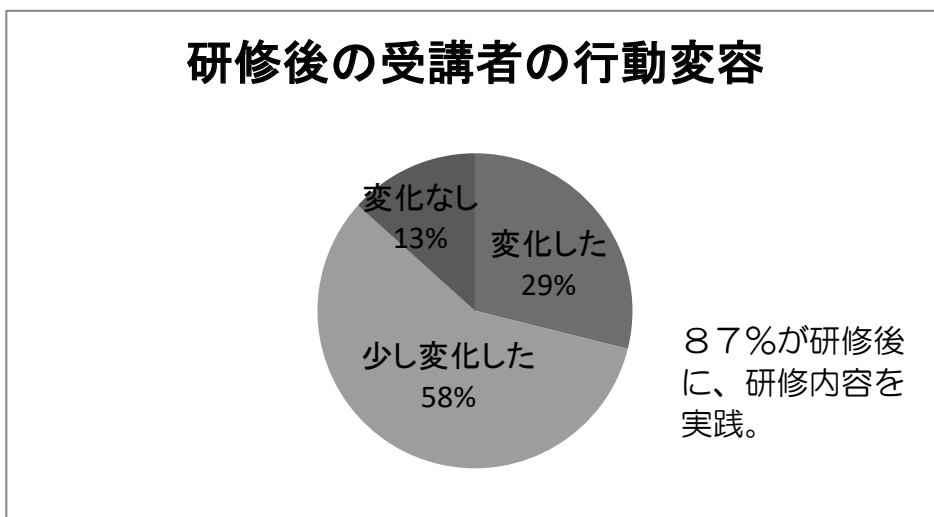
I 一番参考になった研修

研修名	回答数
⑨発達障害に係る相談援助の留意点	8
⑩ホームレス・刑務所出所者に係る支援ツール，関係機関	4
⑪児童虐待に係る支援ツール，関係機関	3
⑫権利擁護（成年後見制度）の知識	7
⑬交通事故，借金の法律知識	10
⑭母子世帯の扶養の法律知識	13
回答なし	0
合計	45

II 行動変容

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
2年目ワーカー（人）	13	26	6	45
割合	29%	58%	13%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった45名についての結果。



行動変容内容（抜粋）

- ・母子世帯の支援において、法的に請求できる他法や援助を具体的に知ることができたので、他法・他施策の観点からより具体的に必要な援助を案内できるようになりました。

- ・発達障害については身体障害などとは違い見えにくさも生きづらさの要因となるケースがあると思います。研修受講後は、そういった人の立場に立ち困難をどうしたら乗り越えられるのか考えるようになりました。

新任係長 事後アンケート集計

I 一番参考になった研修内容

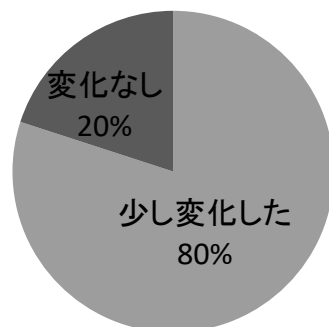
研修名	回答数
①開かれたスーパービジョンのシステム	3
②スーパービジョンの方法	2
③何をどのように、伝える順序	0
④記録の大切さ	0
合計	5

II 行動変容

	変化した	少し変化した	変化なし	合計
新任保護係長 (人)	0	4	1	5
割合	0%	80%	20%	100%

※アンケートを実施し、返信のあった5名についての結果。

研修後の受講者の行動変容



80%が研修後に、研修内容を実践。

行動変容内容（抜粋）

・研修受講後、職員の様子をみて状況に合わせた声掛けができるようになったと感じました。

・「仕事に慣れていくしかない」と思っていたのですが、理論を学び、事例を聞いたりすることで、自身の実践をより客観的に捉えることができるようになったと思います。

発 行

社会福祉法人京都市社会福祉協議会

社会福祉研修・介護実習普及センター

〒600-8127 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83-1

ひと・まち交流館 京都

TEL 075-354-8771 / FAX 075-354-8808

<http://www.syakyo-kyoto.net/>